komplez / 仁 /  
選定理由:

* + 中国語の「仁」は「慈悲」「親切」「人への思いやり」などを表し、日本語でも「仁義」「仁愛」などの語で馴染みがあり、「親切にする」「思いやりを示す」という意味合いに通じる。  
    既出の偏旁や学習コスト:
  + 初出の漢字。画数は4画と比較的少なく、学習コストも低め。

1. honest / 诚 /  
   選定理由:
   * 中国語「诚」(旧字: 誠)は「正直」「誠実」を意味する。日本語の「誠」(まこと)と同系であり、「正直さ」を示す際に分かりやすい。  
     既出の偏旁や学習コスト:
   * 初出の漢字。8画程度で比較的シンプル。後述の sincer にも同字を割り当て再利用。
2. sincer / 诚 /  
   選定理由:
   * 「sincer(誠実な)」も「honest(正直な)」と近い意味であり、中国語で「真诚」「诚恳」等が該当するため、同じ「诚」にまとめた。  
     既出の偏旁や学習コスト:
   * honest と同一の「诚」を再利用。学習コストを抑えられる。
3. pi / 信 /  
   選定理由:
   * 「pi」は「信心深い」「敬虔な」を指す語根なので、中国語の「信」(信仰・信頼)が対応しやすい。日本語の「信」(シン)と同じ字形で通じる。  
     既出の偏旁や学習コスト:
   * 初出の漢字。9画だが比較的よく使われる常用字。
4. fidel / 忠 /  
   選定理由:
   * 「忠」は「忠実」「誠実」「まごころ」を示す漢字で、中国語でも「忠诚」などの熟語に用いられる。  
     既出の偏旁や学習コスト:
   * 初出の漢字。8画で、日本語圏にもなじみが深い。
5. lojal / 忠 /  
   選定理由:
   * 「lojal(忠義な)」も「忠実」「忠誠」とほぼ同義のため、「忠」を再利用。  
     既出の偏旁や学習コスト:
   * fidel と同じ漢字を割り当てることで学習コストを削減。
6. intim / 亲 /  
   選定理由:
   * 中国語「亲」(親)は「親しい」「密接な」などを表す。日本語でも「親(おや)」「親しい」の語感が近く、両言語で「親密さ」を連想しやすい。  
     既出の偏旁や学習コスト:
   * 初出の漢字。画数は9画(「亲」の簡体)とやや多めだが、広く使われる基本字。
7. familiar / 熟 /  
   選定理由:
   * 中国語「熟」は「よく知っている・慣れている」「熟知」「熟練」を表し、日本語の「熟(じゅく)」とも対応。「心安い」「気さくで慣れた感じ」も連想できる。  
     既出の偏旁や学習コスト:
   * 初出の漢字。15画とやや多いが、「成熟」と共通する意味領域があるため後述で再利用予定。
8. afabl / 和 /  
   選定理由:
   * 「和」は「穏やか」「優しい」「和やか」「調和」などをイメージしやすく、中国語・日本語の双方で「優しく親しみやすい」ニュアンスを共有できる。  
     既出の偏旁や学習コスト:
   * 初出の漢字。8画だが、非常に基本的な漢字のひとつ。
9. tener / 柔 /  
   選定理由:

* 「tener(優しい)」は「柔和」「柔らかい」ニュアンスに近く、中国語の「柔」は「柔らかい」「柔和」両方を表す。  
  既出の偏旁や学習コスト:
* 初出の漢字。9画だが「柔道」「柔軟」などで日本語圏にも馴染みがある。

1. arĥaism / 古 /  
   選定理由:

* 「archaism」は「古語」「古風」を意味するため、最も簡潔な「古」を割り当て。  
  既出の偏旁や学習コスト:
* 初出の漢字。5画と少なめで汎用性が高い。

1. arkaism / 古 /  
   選定理由:

* arĥaism とほぼ同義のため、同じ「古」を再利用。  
  既出の偏旁や学習コスト:
* arĥaism と同じ漢字で学習コストを軽減。

1. antikv / 古 /  
   選定理由:

* 「antikv」は「古代の」「古い」を意味し、上記と同様に「古」が最適。  
  既出の偏旁や学習コスト:
* 同じ「古」を再使用し、さらにコスト削減。

1. klasik / 典 /  
   選定理由:

* 「古典の」「经典」に対応しやすい簡体字として「典」を選択。中国語「典型」「词典」、日本語の「典礼」「古典」などで認知度が高い。  
  既出の偏旁や学習コスト:
* 初出の漢字。8画。今後「经典」の「经」を使う手もあるが、画数を考え「典」を採用。

1. arkaik / 古 /  
   選定理由:

* 「archaic」と同義の「古風な」を意味するため、「古」を再利用。  
  既出の偏旁や学習コスト:
* 既出の「古」を引き続き使用。

1. arĥaik / 古 /  
   選定理由:

* 上記「arkaik」と同義。「古」をさらに再利用して統一。  
  既出の偏旁や学習コスト:
* 同じ「古」を適用。

1. matur / 熟 /  
   選定理由:

* 「matur(成熟した)」は中国語で「成熟」「成熟度」に通じるため、「熟」を再利用。「熟」は「成熟」「熟練」「熟知」などと共通の概念。  
  既出の偏旁や学習コスト:
* すでに familiar に「熟」を割り当て済み。再使用でコスト削減。

1. plen/aĝ## / 成人 /  
   選定理由:

* 「成年の」「成人した」を最もストレートに表せるのは「成人」（2文字）。1字のみの「成」だと「完成」「成功」などの意味合いが強くなるため2文字熟語を採用。  
  既出の偏旁や学習コスト:
* 「成」は比較的基本的な字だが、「人」とあわせた「成人」でより的確に表現。合計2文字だが画数も少なめ。

1. alt / 高 /  
   選定理由:

* 「高い」を示す最も基本的な字として「高」を採用。中国語・日本語どちらでも「高い・高所」を連想しやすい。  
  既出の偏旁や学習コスト:
* 初出の漢字。10画だが汎用性が高い。

1. long / 长 /  
   選定理由:

* 「長い」に対応する簡体字は「长」(日本語の「長」の簡体)。画数が少なく、中国語圏でも最も一般的。  
  既出の偏旁や学習コスト:
* 初出の漢字。4画でシンプル。

1. lac / 疲 /  
   選定理由:

* 「疲」は中国語で「疲劳」「疲倦」など「疲れ」を表し、日本語でも「疲れる」と同字。意味が近く分かりやすい。  
  既出の偏旁や学習コスト:
* 初出の漢字。10画だが「疲れる」の日常語感で覚えやすい。

1. enu / 闷 /  
   選定理由:

* 「退屈する」「うんざりする」を表す簡体字として「闷」(伝統字: 悶)が適切。中国語で「无聊」「烦闷」など「退屈・気が塞ぐ」の意に近い。  
  既出の偏旁や学習コスト:
* 初出の漢字。7画(「門」の簡化形含む)と比較的少なめ。

1. sek / 干 /  
   選定理由:

* 「乾いた」「干す」など、水分がない状態を示す最もシンプルな字「干」。中国語でも「干燥」「干杯」等で用いられる。  
  既出の偏旁や学習コスト:
* 初出の漢字。3画と非常に少なく、習得しやすい。

1. humid / 湿 /  
   選定理由:

* 「湿気のある」を示す代表的な簡体字として「湿」。中国語では「潮湿」、日本語でも「湿度」「湿っぽい」など馴染みがある。  
  既出の偏旁や学習コスト:
* 初出の漢字。12画とやや多めだが、水(氵)＋日＋皿部などで比較的覚えやすい。

1. acid / 酸 /  
   選定理由:

* 「酸っぱい」を表す基本漢字「酸」。中国語・日本語共に「酸味」「酸性」「乳酸」など類似用法が多い。  
  既出の偏旁や学習コスト:
* 初出の漢字。14画と少し多いが、「食」に関する頻出文字の一つ。

ranc / 腐 /

* + 選定理由: 「腐」は「腐る」「腐敗」など、日中双方で“食べ物が傷む”・“悪くなる”ニュアンスを連想しやすい。
  + 学習コスト: 日中双方で比較的よく見かける字(「豆腐」など)なので導入しやすい。

1. fort / 强 /
   * 選定理由: 簡体字「强」は「強(つよ)い」にあたる。日本語圏でも「強」の簡体形とすぐ推測可能。
   * 学習コスト: 画数はそれほど多くなく、他でも汎用的に使える。
2. intens / 烈 /
   * 選定理由: 「烈」は「激しい」「強烈な」「烈火」などの語で日中双方になじみがある。単独でも「強い勢い」「強烈さ」を表す。
   * 学習コスト: 画数は10画で中程度。日本語でも「烈」の字形は理解しやすい。
3. firm / 坚 /
   * 選定理由: 「坚」は繁体字の「堅」の簡体形で、「堅固」「堅実」と同じニュアンス。「firm」の意味に直結する。
   * 学習コスト: 「堅」の簡体形ということが分かれば、日本語話者にも理解しやすい。
4. fortik / 坚强 /
   * 選定理由: 中国語で「坚强」は「頑丈な、強固な、屈しない強さ」を意味する熟語。ちょうど「fortik(頑丈な)」に対応。
   * 既出文字: 第4項「firm」で用いた「坚」と、第2項「fort」で用いた「强」を組み合わせて再利用し、学習コストを低減。
5. rigid / 硬 /
   * 選定理由: 「硬」は「硬い」「硬直した」という意味。日中ともに“固くこわばった”イメージ。
   * 学習コスト: 単字で意味が明確。
6. obstin / 倔强 /
   * 選定理由: 中国語で「倔强」は「頑固な、強情な」を意味する慣用的な二字語。まさに「頑固」「固執」のニュアンス。
   * 既出文字: 「强」はすでに「fort」で登場。新出は「倔」のみ。
7. pez / 重 /
   * 選定理由: 「重」は「重い」「重量」など日中共通で分かりやすい。
   * 学習コスト: 画数も少なめで、初学者でもイメージしやすい。
8. masiv / 重 /
   * 選定理由: 「masiv」は“ずっしり重い”ニュアンス。同じ「重」を再利用して学習コストを抑える。
   * 既出文字: 8番「pez」と同じ文字。
9. dik / 肥 /

* 選定理由: 「肥」は「肥満」「肥える」など「太い・ふとった」意味。日本語圏でも容易に推測可能。
* 学習コスト: 単字で済む上、画数(8画)も比較的少ない。

1. dens / 浓 /

* 選定理由: 「浓」は繁体「濃」の簡体形。「濃い」「密度が高い」「濃厚」のニュアンスで、日本語の「濃い」に近い。
* 学習コスト: 「濃」の簡体形と理解できれば、日本語話者にも連想しやすい。

1. elast / 弹 /

* 選定理由: 簡体字「弹」は「弾力」「反発する」イメージ(「弹性」で弾力を表現)。単字で“弾む”ニュアンスを示せる。
* 学習コスト: 「弾(だん)」の簡体形として日本語圏でも推測しやすい。

1. mol / 柔 /

* 選定理由: 「柔」は日中とも「やわらかい」「ソフト」の意味で使用される。
* 学習コスト: 単字で意味が取りやすく、画数も9画と過剰ではない。

1. dolĉ / 甘 /

* 選定理由: 「甘」は「甘い」意味。日中ともに“スイート”を直接連想しやすい最も基本的な字。
* 学習コスト: 画数5画と非常に少なく、導入しやすい。

1. mild / 柔和 /

* 選定理由: 中国語で「柔和」は“温和でやさしい”ニュアンス。まさに「mild」の意味合いに近い。
* 既出の偏旁: 「柔」は13番「mol」で既出。新たに「和」を加えるのみ。

1. glat / 滑 /

* 選定理由: 「滑」は中国語で“滑らか”“つるつる”“すべる”の意味。日本語でも「滑る」(すべる)の字で認識しやすい。
* 学習コスト: 多少画数はあるが、単字で表現可能。

1. delikat / 精细 /

* 選定理由: 中国語で「精细」は“精密で繊細”“きめ細やか”の意。まさに「delicate」の感覚をカバー。
* 学習コスト: 新出の「精」「细」2文字だが、「微細」など他語根でも「细」を再利用予定。

1. subtil / 细微 /

* 選定理由: 「细微」は“微細な”“非常に細かい”という意味。
* 既出の偏旁: 17番で登場した「细」を再利用し、「微」を追加。

1. ombr / 影 /

* 選定理由: 「影」は“影”“影法師”“シルエット”を思わせる漢字で、日中とも「かげ」の意味を直感しやすい。
* 学習コスト: 単字で分かりやすく、日常的に頻出する字。

1. nuanc / 微妙 /

* 選定理由: 中国語「微妙」は“ニュアンスが微妙”“わずかな差異”というときの表現として一般的。
* 既出の偏旁: 18番で「微」を導入済み。新たに「妙」を追加。

1. fulm / 闪电 /

* 選定理由: 中国語で稲妻=「闪电」。直訳すると「光が閃き、電が走る」のイメージ。
* 学習コスト: 「闪」(閃)と「电」(電)はいずれも日本語の「閃」「電」に近く、意味を連想しやすい。

1. polur / 光 /

* 選定理由: 「polur」は“磨いて光沢を出す”“輝きを出す”イメージ。「光」=“光沢”“ひかり”を連想しやすい。
* 学習コスト: 単字(6画)で、日本語の「光」と同形。

1. hel / 明 /

* 選定理由: 「明」は“明るい”“あきらか”を表す代表的な漢字。
* 学習コスト: 日中双方で頻繁に用いられる字。

1. lum / 光 /

* 選定理由: 「lum」は“光そのもの/発光”のニュアンスが強いので、再度「光」を採用。
* 既出の偏旁: 22番「polur」で既出の同じ字を再利用。

1. bril / 辉 /

* 選定理由: 「辉」は繁体「輝」の簡体字。日本語の「輝く」に該当し、“きらめく輝き”を想起しやすい。
* 学習コスト: 較やや画数はあるが、単字で“輝く・光り輝く”を表すのに適切。

diafan / 透 / 「透明」「透過」などの語感から「半透明」のニュアンスを連想しやすい / 初登場の字

1. konciz / 简 / 中国語「简洁（簡潔）」の核心をなす字で、「簡潔」の意味を直接連想しやすい / 後述の simpl と同じ字を再利用
2. facil / 易 / 「容易」のイメージに最も直結する簡体字 / 初登場の字
3. simpl / 简 / 中国語「简单（簡単）」を直接想起でき、「簡単・シンプル」というニュアンスに適合 / 上記 konciz と同じ字を再利用
4. klar## → (語根ではないため割り当てスキップ)
5. evident / 明 / 「明白」「显而易见」(明らか・はっきりしている)のイメージから選定 / 後述の klar と同じ字を再利用
6. klar / 明 / 「明瞭」「明らか」を想起できるシンプルな字 / 上記 evident と同字を再利用
7. ebon / 乌木 / 中国語で「黒檀」を指す既存熟語。1字では表しづらいため2文字熟語を採用 / 新出の2文字
8. nigr / 黑 / 「黒(黑)」を最も直接的に表す単一字 / 初登場の字
9. negr / 黑人 / 「黒人」を示す一般的な既存熟語。1字で人種を表すのは難しいため2文字熟語を採用 / 「人」は2画と少ないため学習コストも比較的低い
10. blank / 白 / 「白色」を表す最もシンプルな字 / 初登場の字
11. albin / 白化 / アルビノ＝「白化（病）」を連想しやすい既存表現。1字では困難のため2文字熟語 / 「化」は学習頻度の高い字
12. pal / 淡 / 「淡い色」「淡色」から「青ざめた」「顔色の薄い」ニュアンスを想起可能 / 初登場の字
13. blond / 金 / 「金色」「金髪」のイメージを直接表すシンプルな字 / 初登場の字
14. blu / 蓝 / 中国語「蓝色」に由来し、青・藍を表す単一字 / 初登場の字
15. flav / 黄 / 「黄色」を表す単一字 / 初登場の字
16. brun / 棕 / 中国語「棕色」(茶・褐色に近い)を想起しやすい字。比較的画数が少ない / 初登場の字
17. griz / 灰 / 「灰色」を最もシンプルに表す字 / 初登場の字
18. lazur / 天蓝 / 「天蓝」は“空色・スカイブルー”を示す既存熟語。1字では表しづらいため2文字熟語 / 「蓝」は blu で既出、「天」は画数が少なく学習コストも低い
19. purpur / 紫 / 「紫色」を表す単一字 / 初登場の字
20. skarlat / 红 / 本来「绯」「猩」などもあるが、1字に集約して赤系統の色を示すために再利用 / 後述の ruĝ や punc と同字を使い回し
21. verd / 绿 / 「绿色」を表す単一字 / 初登場の字
22. verdigr / 铜绿 / 「緑青」を指す既存表現。1字では難しいため2文字熟語 / 「绿」は verd で既出、「铜」は新出
23. ruĝ / 红 / 「赤色」を表す最も一般的な簡体字 / 上記 skarlat, punc と同字を再利用
24. punc / 红 / 「ポピー(ひなげし)の赤」「クリムゾン系の赤」だが、単一字では赤系のニュアンスをまとめて「红」に集約 / 上記 ruĝ, skarlat と同字を再利用

novjork / 纽约 /

* + 選定理由: 中国語で「ニューヨーク」は一般に「纽约」と表記。日本語圏でも「紐約」の略体として広く認知されている。
  + 学習コスト: 「纽(7画)」「约(6画)」という2文字。後続の「jork(=约克)」とも文字を共有。

1. jork / 约克 /
   * 選定理由: 中国語で「ヨーク」は「约克」。
   * 学習コスト: 「约」はすでにnovjorkで使用。「克(7画)」が新規。
2. nikola / 尼古拉 /
   * 選定理由: 「ニコラ」「ニコラウス」に相当する中国語表記として定番の一形態。「尼古拉斯」から末尾を省き簡潔化。
   * 学習コスト: 「尼(5画)」「古(5画)」「拉(8画)」。うち「尼」は後続の「nikodem」等でも活用。
3. nikodem / 尼哥底母 /
   * 選定理由: 「ニコデモ」に対応する漢字表記としては聖書由来の「尼哥底母」が通例。
   * 学習コスト: すでにある「尼」を再利用しつつ、「哥(10画)」「底(8画)」「母(5画)」を追加。
4. nikel / 镍 /
   * 選定理由: 化学元素「ニッケル」の中国語名は「镍」。
   * 学習コスト: 新規1文字だが、金属偏(钅)を含む「镍(14～15画程度)」は化学分野で定着。
5. nanken / 南京布 /
   * 選定理由: 「ナンキン木綿(nankeen)」は南京地方由来の布として知られ、中国語でも「南京布」等と表現される。
   * 学習コスト: 「南(9画)」「京(8画)」「布(5画)」。いずれも比較的初級漢字で、日本語圏も意味を推測しやすい。
6. nikotin / 尼古丁 /
   * 選定理由: 「ニコチン」の中国語表記は「尼古丁」が広く定着。
   * 学習コスト: 「尼」「古」は既出。「丁(2画)」を新規追加。
7. elektr / 电 /
   * 選定理由: 「電気」に相当。簡体字で「电」は最も簡潔。
   * 学習コスト: 新規1文字(5画程度)。
8. elektronik / 电子 /
   * 選定理由: 「電子(工学)」は中国語で「电子」あるいは「电子学」。ここではやや短縮形の「电子」を採用。
   * 学習コスト: 「电」は再利用。「子(3画)」のみ新たに追加。
9. ret / 网 /

* 選定理由: 「網」の簡体字は「网」。インターネットの「網」的な意味も直感しやすい。
* 学習コスト: 新規1文字(6画)。

1. cirkvit / 电路 /

* 選定理由: 「回路」や「電路」の中国語標準訳は「电路」。
* 学習コスト: 「电」は既出。「路(13画)」を追加。

1. orel / 耳 /

* 選定理由: 「耳」。日本語・中国語とも同形。
* 学習コスト: 新規1文字(6画)だが、比較的初級。

1. aŭd / 听 /

* 選定理由: 「聞く」に相当。中国語で「听」は「聴く／聞く」を広くカバー。
* 学習コスト: 新規1文字(7画)。

1. aŭskult / 听 /

* 選定理由: 「聴く」「傾聴する」も同じ「听」で表現可能。エスペラントでは「aŭd (聞く)」と「aŭskult (聴く)」で微妙に違うが、簡体字は同じ割当を流用。
* 学習コスト: 既出の「听」を再利用。

1. mikrofon / 麦克风 /

* 選定理由: 「マイクロフォン」の中国語表現として定着。「麦克」=マイク(Mic)音写＋「风」。
* 学習コスト: 「麦(7画)」「克(既出: jork で登場)」「风(4画)」。克を再利用できるのが利点。

1. telefon / 电话 /

* 選定理由: 「電話」は簡体字で「电话」。
* 学習コスト: 「电」は既出。「话(8画)」を新規。

1. telegraf / 电报 /

* 選定理由: 「電信機」「電報機」は中国語で「电报(机)」。ここでは簡潔に「电报」。
* 学習コスト: 「电」は既出、「报(7画)」を追加。

1. faktor / 因素 /

* 選定理由: 「要因」「要素」「ファクター」を示す一般的な語として「因素」が広く使われる。
* 学習コスト: 「因(6画)」「素(10画)」を追加(「因」は次の#19で再利用予定)。

1. kaŭz / 原因 /

* 選定理由: 「原因」を表す標準的な漢字2文字。「原(10画)」「因(既出)」。
* 学習コスト: 「原」だけが新規。

1. motiv / 动机 /

* 選定理由: 「動機」の簡体字は「动机」。
* 学習コスト: 「动(6画)」「机(6画)」ともに新規。

1. kial / 为何 /

* 選定理由: 「なぜ」「どうして」を表す常用表現。「为什么」も一般的だが、2文字の「为何」も比較的簡潔。
* 学習コスト: 「为(4画)」「何(7画)」が新規。後の「因为」(#25)で「为」を再利用。

1. kial## / 为何## /

* 選定理由: #21 と同じ意味(「なぜ」)なので同じ表記を流用。
* 学習コスト: 既出「为何」。

1. ial / 因由 /

* 選定理由: 「ある理由で」「何らかの理由で」を2文字でコンパクトに示す。「因(既出)＋由(5画)」
* 学習コスト: 「由」1文字のみ追加。

1. ĉial / 诸因 /

* 選定理由: 「あらゆる理由で」。直訳的には「种种原因」「各种理由」等が一般的だが、画数を減らすため「诸因(諸々の原因)」と簡潔化。
* 学習コスト: 「诸(8画)」を新規追加、「因」は再利用。

1. ĉar / 因为 /

* 選定理由: 「~だから」「because」に相当。中国語の定型「因为」。
* 学習コスト: 「因」は既出、「为」は#21ですでに導入済み。

### 1. ĉar##

* 割当: 因
* 理由: 「because」の意味に対応するもっとも代表的な簡体字は「因(因为)」。
* 備考: 同じ「原因」「〜のせいで」のニュアンスがある pro にも「因」を再利用予定。

### 2. tial

* 割当: 故
* 理由: 「それゆえ」「だから」といった 結果・結論 を示す語。文言寄りだが「故(ゆえに)」という漢字1文字で「 therefore / thus 」のイメージを比較的つかみやすい。
* 備考: 「因」(原因)と「故」(結果)で、原因→結果の対比がしやすい。

### 3. pro

* 割当: 因
* 理由: 「〜のために(原因)」の意。ĉar(だから) と似た“理由・原因”の含意が強いため、ĉar## と同じ「因」に統合。
* 備考: 再利用により学習コスト(覚える漢字種類)を削減。

### 4. por

* 割当: 为
* 理由: 「〜のために(目的)」＝ in order to / for the sake of のニュアンスを、簡体字「为(為)」で表す。
* 備考: 「因」は“原因”、こちらは“目的”と区別しておくとわかりやすい。

### 5. prez

* 割当: 价
* 理由: 「価格」を表す最も直接的な簡体字は「价(价格)」。
* 備考: 偏旁は「亻」+「介」。比較的覚えやすい部首構造。

### 6. statur

* 割当: 高
* 理由: 「身長」「背丈」を1文字で端的に示すなら「高」がもっとも直感的。「身」も候補だが“身体全体”のイメージが強い。
* 備考: 画数はやや多めだが、日本語話者にも「高＝タカイ」の連想が容易。

### 7. diametr

* 割当: 直径
* 理由: 「直径」を1文字で表す漢字は存在しないため、「直径」を2文字熟語のまま採用。
* 備考: 「直」(まっすぐ) と「径」(みち) という構成で、日本語・中国語ともに馴染み深い表記。

### 8. latitud

* 割当: 纬度
* 理由: 「緯度」を示す標準的な2文字熟語は「纬度」。
* 備考: 単独の「纬」はもともと「横糸」「緯線」の意味だが、それだけだと「緯度」のニュアンスが伝わりにくいので「纬度」で割当。

### 9. longitud

* 割当: 经度
* 理由: 「経度」を示す標準表記は「经度」。
* 備考: 「纬度」と対になる表記。「度」を共有しているため、一度「度」の字を覚えれば両方で使い回せる。

### 10. milion

* 割当: 百万
* 理由: 「百万(1,000,000)」を漢字2文字(実質は「百万」で3文字相当の概念だが)で示すのが一般的。
* 備考: すでに後の cent で「百」、別の語根で「万」を使う予定があるため、学習コストを抑えられる。

### 11. miliard

* 割当: 十亿
* 理由: 「十億(1,000,000,000)」=「十亿」が標準的。
* 備考: 「十」は一桁数字のうちの一つ。「亿」(億の簡体字) は10^8を表す漢字。ここでは10×(10^8) = 10^9。

### 12. mil

* 割当: 千
* 理由: 「千(1,000)」で漢字1文字。日本語・中国語ともに馴染みが深い。
* 備考: 桁を表す頻出漢字なので、ほかの数詞との組合せ(例:「千米」など)に再利用できる。

### 13. cent

* 割当: 百
* 理由: 「百(100)」。既に10番(milion=百万)で「百」を利用しているが、ここで本来の意味として改めて割当。
* 備考: これにより「百万」「十億」なども自然に理解できる。

### 14. nul

* 割当: 零
* 理由: 「ゼロ」を表す最も代表的な簡体字は「零」。
* 備考: 15番(nul##) も同じく「零」を割り当て予定。重複利用で学習コスト削減。

### 15. nul##

* 割当: 零
* 理由: 上記(14)と同じく「ゼロ」。
* 備考: 「##」が付いているが、実質同義なので同じ漢字を再利用。

### 16. miriad

* 割当: 万
* 理由: エスペラントの「miriad」は10,000(ギリシャ語由来の「myriad」)や「無数」を指す場合があるが、中国語で数値として近いのは「万(10^4)」。
* 備考: すでに10番(milion=百万)で「万」を使用しており再利用可能。

### 17. cifer

* 割当: 数
* 理由: 「数字・数」を意味するので「数(数字)」が最もシンプル。
* 備考: 次の nombr も「数」を割り当てて同一化することで文字数を削減。

### 18. nombr

* 割当: 数
* 理由: 「(数)を数える」「(数)そのもの」を表す語で、「cifer(数字)」と重なる部分が大きい。ここでは\*\*同じ「数」\*\*を再利用。
* 備考: 厳密には「digit(一桁)」と「number(量)」の差はあるが、学習コスト重視で統合。

### 19. numer

* 割当: 号
* 理由: 「番号」「号数」を表す語。「号(号码)」が簡体字でもっとも直接的。
* 備考: 「数」と区別したい場合は、こちらを「号」で割り当てると分かりやすい。

### 20. centimetr

* 割当: 厘米
* 理由: 「センチメートル」の一般的中国語表記。1文字で該当はなく「厘米」を使用。
* 備考: 後述(24,25番など)で「米」を再利用するため「厘+米」で構成。

### 21. col

* 割当: 英寸
* 理由: 「インチ」は標準的に「英寸」。1文字で完全対応する漢字は存在しない。
* 備考: 「寸」は本来中国の尺貫法で約3.3cm。厳密には1inch=2.54cmなので完全一致ではないが、中国語圏では「英寸」の表記が普通。

### 22. kilometr

* 割当: 千米
* 理由: 「キロメートル」の中国語表現として「千米」(または「公里」)。ここでは既出の「千」+「米」を再利用して文字数削減。
* 備考: 「公」も馴染み深いが、新たな字を増やすより、すでにある「千」の方が学習負担を下げられる。

### 23. mejl

* 割当: 英里
* 理由: 「マイル」を表す標準的中国語表記は「英里」。
* 備考: 21番(col=英寸) と同じ「英」を使いまわし。「里」は本来中国の距離単位(約500m)だが、英里=マイルの意で定着している。

### 24. metr

* 割当: 米
* 理由: 「メートル」の最も基本的な漢字対応。
* 備考: 20番「厘米」などですでに「米」を使用しており、一貫性がある。

### 25. milimetr

* 割当: 毫米
* 理由: 「ミリメートル」の中国語表記は「毫米」。1文字では表現しづらいため2文字。
* 備考: すでに「米」は登場済み。新たに「毫」を加えるのみで済む。

centim / 分 /  
理由：「分」は中国語で「貨幣の最小単位（～分）」を表せるため、サンチームのような「1/100貨幣単位」として扱いやすい。  
学習コスト：「分」は既出予定（※下記cendやminutでも同じ字を使う）で、重複利用できる。

1. cend / 分 /  
   理由：「セント」の意味で使われる1/100通貨単位にも「分」を流用。中国語でも 1 元 ＝ 100 分 という体系があり自然。  
   学習コスト：centimと同字で統一し、追加の字を増やさない。
2. minut / 分 /  
   理由：時間の「分」に相当する漢字は中国語でも「分」。貨幣単位と同字だが、文脈や振り仮名で区別可能。  
   学習コスト：既出の「分」を再利用。
3. sekund / 秒 /  
   理由：時間の「秒」に相当する単漢字は「秒」が定着しており、日本語話者にも直感的。  
   学習コスト：新出だが、非常に標準的。
4. pasport / 护照 /  
   理由：簡体字での「旅券」は正式には「护照」が一般的。日本語の「護照」に近く、意味も推測しやすい。  
   学習コスト：「护」「照」の2文字だが、どちらも比較的よく用いられる常用字。
5. viz / 签证 /  
   理由：「ビザ」に相当する標準的な中国語が「签证」。1文字での代用は難しく、熟語を用いるのが自然。  
   学習コスト：2文字増えるが、中国語では必須の表現。
6. diplomat / 外交官 /  
   理由： “外交官” は最も直接的な表現。日本語の「外交官」とも近く意味を推測しやすい。  
   学習コスト：「外」「交」「官」3文字だが、(8)の“外交”との重複を含むため、学習負担は少し軽減。
7. diplomati / 外交 /  
   理由：「外交」を表す最も標準的な簡体字表現。  
   学習コスト：「外」「交」は上記(7)で既出済み。
8. ambasad / 大使馆 /  
   理由：大使館は中国語で「大使馆」が定着。  
   学習コスト：「大」「使」「馆」の3文字。
9. ambasador / 大使 /  
   理由：大使は「大使」。(9)の一部とも重複し、文脈も通じる。  
   学習コスト：「大」「使」は既出の再利用。
10. perspektiv / 展望 /  
    理由：日本語の「展望」と同義で、中国語でも「展望」は「将来を見通す」「見通し」の意。  
    学習コスト：「展」「望」の2文字はやや画数多めだが、日本語話者にも連想しやすい。
11. pejzaĝ / 风景 /  
    理由：「風景」の簡体字は「风景」。景観・景色を示す標準的語彙。  
    学習コスト：2文字。「风」は画数が少なく、日本語「風」の簡体字と分かりやすい。
12. panoram / 全景 /  
    理由：「全景」は「パノラマ」「全景図」の意で、風景との関連も示しやすい。  
    学習コスト：「全」は新出だが「景」は(12)と同じ。
13. vizit / 访问 /  
    理由：「訪問する」を意味する標準的表現が「访问」。  
    学習コスト：2文字だがどちらも日常的単語。
14. turism / 旅游 /  
    理由：「観光」「旅行」系を指す標準的な簡体字。日本語の「旅游業」等とも近い。  
    学習コスト：2文字。「旅」は日本語でも「旅」、意味を推測しやすい。
15. turist / 游客 /  
    理由：観光客・旅行者を指す最も一般的な単語が「游客」。  
    学習コスト： 「游」は(15)再利用、「客」は新出だが“guest”の意味を持ち、直感的。
16. guvern / 教养 /  
    理由：原義が「子を養育する」「家庭教師が付く」などに近い。中国語で「教养」は「教育・しつけ・素養」の含意があり、近いニュアンス。  
    学習コスト：「教」は(18)と重複、「养」は新出だが「養」の簡体字で意味も取りやすい。
17. instru / 教 /  
    理由：「教える」の意を持つ単漢字は「教」が最も直接的。  
    学習コスト：画数はそこそこだが、教育関連で頻出し再利用価値大。
18. eduk / 教育 /  
    理由：「教育」を示す標準表現。「eduk」は名詞・動詞両面があるが、中国語でも「教育」は兼用可。  
    学習コスト：「教」は既出・「育」は新出だが、日本語「育」と同形。
19. didaktik / 教学法 /  
    理由：「教授法・教育法」に相当する語として「教学法」が一般的。  
    学習コスト：既出の「教」「学」に加えて「法」1文字が新出。
20. pedagog / 教师 /  
    理由：「教師・教育者」。中国語で最もシンプルかつ定着したのは「教师」。  
    学習コスト：「教」は既出、「师」は新出（日本語「師」と同義）。
21. pedagogi / 教育学 /  
    理由：「教育学」「ペダゴジー」をそのまま表すと「教育学」が妥当。  
    学習コスト：既出「教育」と「学」の組合せで新字なし。
22. seminari / 研讨会 /  
    理由：「ゼミナール」「セミナー」を意味する最も標準的訳語の一つ。「研讨会」は「研究討論会」の略。  
    学習コスト：3文字だが、中国語ではセミナー類を指す常用表現。
23. lecion / 课 /  
    理由：授業・レッスンを表す単漢字の定番は「课」（日本語「課」の簡体字）。  
    学習コスト：画数は少なく、1文字で済むので学習負担が低い。
24. kurs / 课程 /  
    理由：「講座・コース」を表す語。「课程」は「课(授業)＋程(過程)」で、カリキュラムの意。  
    学習コスト：「课」は(24)重複、「程」は新出だが比較的わかりやすい。

### 1) doktor

markdown

Copy

doktor / 博 / 「博士」の略字イメージとして。PhD・博士号の連想を重視 /

既出で「博」を再利用すれば他語根との連携が期待できる(例：博物館の「博」と共有)

* 選定理由: 本来「doctor(博士)」は「博士」(2文字)とするのが正確ですが、「博」1文字でも「博士(はくし)」に通じる要素を持ち、日本語・中国語とも「博」の字から“幅広い知識”“博士”を連想しやすいと考え採用。
* 学習コスト: 今後「博物館」(muze) などで「博」を共有可能。

### 2) profesor

markdown

Copy

profesor / 教授 / 中国語・日本語ともに「教授」で完全一致する標準表現 /

「教」や「授」はすでに他で使われる可能性が高く、2文字とはいえ学習コストは比較的低め

* 選定理由: 単字「教」だけでは「教授」の意味までは伝わりにくい。中国語・日本語ともに“大学などの教授”は「教授」が定着しているため、2文字熟語での採用。
* 学習コスト: 「教」「授」ともに画数は多くないほうなので、他の教育関連語でも使い回せる利点がある。

### 3) dekan

markdown

Copy

dekan / 院长 / 大学の学部長などを指す際、中国語で一般的な「院长」を使用 /

「院」は他の研究機関(研究院等)と共通利用可、「长」は校長等にも用いて重複を狙える

* 選定理由: 中国語では「学院」のトップを「院长」と呼ぶことが多い。「学部長」「学院長」のイメージに合致。
* 学習コスト: 「院」は後述の「研究院」(institut)などとも共有しやすい。「长」は校長(rektor)などと共通。

### 4) rektor

markdown

Copy

rektor / 校长 / 大学の学長・校長の意味で、中国語の「校长」を採用 /

「长」はdekan(院长)と同じく使い回しが可能

* 選定理由: 大学のトップ(学長)は中国語で「校长」と表記が一般的(特に大学校長)。
* 学習コスト: すでに「院长」の「长」と共通で、学習負担を削減。

### 5) institut

markdown

Copy

institut / 研究院 / 「研究所」も一般的だが、すでに登場した「院」を再利用する形で選択 /

「研」「究」「院」は互いに教育・研究関連語で繰り返し使われやすい

* 選定理由: 中国語で「研究所」(3文字)も標準的だが、「院长」の「院」と組み合わせる「研究院」のほうが偏旁を共有できる。
* 学習コスト: 新出の「研」「究」2字のみ追加、既出の「院」で対応可能。

### 6) instituci

markdown

Copy

instituci / 机构 / 中国語で「機関・組織」を広く表す標準用語 /

「机」「构」は他でも組織関連に応用できる

* 選定理由: 「施設」「機関」という意味を総称的に表すなら中国語で「机构」が最も一般的。
* 学習コスト: 新たに「机」「构」が出るが、今後ほかの「機構」関連語にも応用しやすい。

### 7) bibliotek

markdown

Copy

bibliotek / 图书馆 / 中国語・日本語ともに「図書館」として認知度高し /

「馆」は後の「博物馆」などでも共用が可能

* 選定理由: 標準的な「図書館」は簡体字で「图书馆」。日本語圏でもほぼ同形「図書館」で親しみやすい。
* 学習コスト: 「图」「书」「馆」のうち「馆」は後に出る博物馆(muze)とも重複利用。

### 8) muze

markdown

Copy

muze / 博物馆 / 「博物馆」(博物院)が最も一般的かつ「博」「馆」を再利用 /

「博」はdoktor(博)と重複、「馆」は図書館(bibliotek)と重複

* 選定理由: 中国語で「博物馆」は“博物館”の定番表現。「博」はすでにdoktor=「博」として利用しており、学習コストを下げられる。
* 学習コスト: 新出は「物」のみ。ほかは既出漢字(「博」「馆」)を再利用。

### 9) laboratori

markdown

Copy

laboratori / 实验室 / 中国語で「実験室」を表す最も一般的な語 /

「实」「验」「室」3字だが、研究・実験関連では今後流用しやすい

* 選定理由: 標準的な“ラボ(研究室)”は「实验室」。
* 学習コスト: 新出の「实」「验」「室」だが、いずれも科学分野で再利用されやすい。

### 10) observatori

markdown

Copy

observatori / 观测台 / 天文台限定なら「天文台」も可だが、観測所全般を示す意味合いで「观测台」を採用 /

「观」「测」「台」3字の追加

* 選定理由: 「天文台」だと天文観測に限定されやすいので、より汎用的な「观测台」を採用。
* 学習コスト: 新出の「观」「测」「台」は他の観測・測定関連語と共有できる可能性がある。

### 11) komitat

markdown

Copy

komitat / 委员会 / 実行委員会など広い意味での「委員会」 /

「委」「员」「会」は次のkomisionとも重複利用

* 選定理由: 中国語では一般に“(実行)委員会”も「委员会」と呼ぶ。
* 学習コスト: 「委员会」を1セットで覚えれば、次のkomisionにも流用可能。

### 12) komision

markdown

Copy

komision / 委员会 / 調査委員会などを含むため、同じく「委员会」で統一 /

komitatと同じ表記だが、用途や文脈で使い分け

* 選定理由: 中国語で“調査委員会”なども「调查委员会」と派生可能。今回は共通の「委员会」を付与。
* 学習コスト: すでにkomitat(委员会)で導入済み。

### 13) senat

markdown

Copy

senat / 参议院 / 上院を指す場合、中国語では「参议院」が定訳 /

「参」「议」「院」が出現。「院」は既出、他2字は新出

* 選定理由: “元老院・参議院・上院”に相当する標準語が「参议院」。
* 学習コスト: 「参」「议」は新出だが、後の「议会」(parlament)で「议」を再利用可能。「院」は重複済み。

### 14) parlament

markdown

Copy

parlament / 议会 / 中国語では「议会」= 国会・議会の意 /

「议」「会」はいずれも既出(参议院や委员会など)

* 選定理由: “国会”“議会”一般を指す「议会」が最適。
* 学習コスト: 「议」はsenatで登場済み、「会」はkomitat等で登場済み。

### 15) konsistori

markdown

Copy

konsistori / 枢机会议 / 枢機卿会議を指す標準表現の一つ /

「枢」「机」「会」「议」のうち「机」「会」「议」は既出。「枢」のみ新出

* 選定理由: カトリック等での“枢機卿会議”＝「枢机会议」と表されるのが一般的。「枢密院」はやや別の意味(政府の最高機関)に使われる。
* 学習コスト: 新出の「枢」以外は既出文字を再利用。

### 16) sinod

css

Copy

sinod / 教会会议 / [宗]教会会議(シノド)に対応。主教会議等も含む /

「教」「会」「会」「议」で構成。全て既出字で対応

* 選定理由: “教会会議”を中国語に直すと「教会会议」や「主教会议」などが用いられる。ここではより直接的な「教会会议」。
* 学習コスト: 「教」(教授)、「会」「议」(委员会, 议会など)は既出。新出なし。

### 17) konferenc

markdown

Copy

konferenc / 会议 / 一般の会議・カンファレンス全般を示すので簡潔に「会议」 /

いずれも既出(「会」「议」)

* 選定理由: 会議全般(カンファレンス)は中国語で「会议」が最も一般的かつシンプル。
* 学習コスト: 既出の「会」「议」の組み合わせなので追加負担なし。

### 18) kongres

markdown

Copy

kongres / 大会 / 「（代表）大会」などのニュアンスを含むため、簡潔に「大会」 /

「大」は新出だが「会」は既出

* 選定理由: “(代表)大会”“学会大会”など、大規模な集まりには「大会」。
* 学習コスト: 新出は「大」のみ。「会」はすでに多用。

### 19) asemble

markdown

Copy

asemble / 集会 / “総会”や“集まり”全般というイメージで「集会」による差別化 /

「集」は新出、「会」は既出

* 選定理由: kongres(大会)と区別し、やや小～中規模の“会合”や“集まり”のニュアンスで「集会」。
* 学習コスト: 「集」1字のみ追加。

### 20) teodor

markdown

Copy

teodor / 西奥多 / 中国語で一般的な音訳形を使用 /

「西」「奥」「多」は新出

* 選定理由: テオドル/Theodoreに対する中国語音訳「西奥多」が定番。単字化は困難なので3文字で割当。
* 学習コスト: 全て新出だが、人名の固有表記として割り切り。

### 21) jod

css

Copy

jod / 碘 / [化]ヨウ素(ヨード)の中国語表記 /

新出字「碘」はほかで使う機会は少なめ

* 選定理由: 中国語でヨウ素=「碘」が標準。1文字で表せる。
* 学習コスト: やや画数が多いが化学元素として仕方ない。

### 22) sod

css

Copy

sod / 苏打 / [化]ソーダ(炭酸ソーダ等)として「苏打」を採用 /

「苏」「打」が新出

* 選定理由: 中国語でソーダ=「苏打」(例：小苏打=重曹)が広く浸透。
* 学習コスト: 「苏」「打」2字だが、日常単語との関連(打=「打つ」等)で記憶しやすい可能性あり。

### 23) jud

markdown

Copy

jud / 犹太 / [民族]ユダヤ人=「犹太(人)」。「人」は省略可 /

「犹」「太」が新出。太=doktor(博)の「大」と似た形だが別字

* 選定理由: 中国語で“ユダヤ人”=「犹太人」。名詞としては「犹太」で指す場合も多い。
* 学習コスト: 2文字「犹」「太」。必要に応じて「人」を付けてもよい。

### 24) jud/ism## (※末尾##は語根外と注記)

bash

Copy

jud/ism## / (同上)犹太教 / ユダヤ教の意だが、本来は仮の語根扱い /

「犹」「太」「教」の組み合わせ

* 補足: 実際のエスペラント語根ではない(末尾に##)とのことだが、「ユダヤ教」=「犹太教」が妥当。
* 学習コスト: 「犹」「太」は既出、加えて「教」(教授)も既出。

### 25) judaism

css

Copy

judaism / 犹太教 / [宗]ユダヤ教。最初から正規の語根として存在する場合 /

「犹」「太」「教」はすべて既出済み

* 選定理由: ユダヤ教を示す中国語は「犹太教」が一般的。
* 学習コスト: いずれの文字も前出と重複。

johan / 约翰 / 標準的な中国語音訳「约翰」を採用 / 新出: 约, 翰

1. jozef / 约瑟 / 中国語での「约瑟夫」から末尾を省略し2字化 / 既出の「约」を再利用, 新出: 瑟
2. aŭgust / 八 / 「8月」→「八」。画数が少なく日中ともに“8”を直感できる / 新出: 八
3. aŭgust## / 奥 / [男子名]アウグスト。標準的に「奥古斯特」だが簡略化して1字に / 新出: 奥
4. juli / 七 / 「7月」→「七」。日中ともに“7”と直感 / 新出: 七
5. juni / 六 / 「6月」→「六」。
6. septembr / 九 / 「9月」→「九」。
7. decembr / 十二 / 「12月」→「十二」。2字だが分かりやすさ優先 / 新出: 十, 二
8. oktobr / 十 / 「10月」→「十」。すでに「十」は上記(8)で出現
9. novembr / 十一 / 「11月」→「十一」。(8)・(9)を活用 / 既出: 十, 一
10. januar / 一 / 「1月」→「一」。
11. februar / 二 / 「2月」→「二」。
12. mart / 三 / 「3月」→「三」。
13. maj / 五 / 「5月」→「五」。
14. april / 四 / 「4月」→「四」。
15. monat / 月 / 「暦の月」。最も直接的な「月」を採用 / 新出: 月
16. lun / 月 / 「月(天体)」→同じ字を再利用し、振り仮名等で区別 / 既出: 月
17. sun / 日 / 「太陽」を表す最基本字 / 新出: 日
18. tag / 日 / 「日(一日・昼間)」。同じく「日」で使い回し / 既出: 日
19. dat / 日期 / 「日付」→1字での適訳は難しいため「日期」に / 新出: 期（「日」は既出）
20. hieraŭ / 昨天 / 「昨日」→標準的な「昨天」 / 新出: 昨, 天
21. morgaŭ / 明天 / 「明日」→標準的「明天」 / 新出: 明（「天」は既出）
22. semajn / 周 / 「週(一週間)」→簡体字で「周」 / 新出: 周
23. sabat / 周六 / 「土曜日」→「周六」(=「週の6日目」) / 既出: 周, 六
24. dimanĉ / 周日 / 「日曜日」→「周日」(=「週の日」) / 既出: 周, 日

### 1) ĵaŭd (木曜日 / Thursday)

css

Copy

ĵaŭd / 木 / 日本語の「木曜日」に由来してThursdayを連想しやすい / 曜日共通方針で「月火水木金」の一字割当を採用

* 選定理由: 日本語圏では「木曜日＝木」という直観があり、中国語圏では厳密に「周四」ですが、1文字化＆日中双方で連想しやすい漢字として「木」を使用。
* 学習コスト: 画数4画で比較的少ない。曜日シリーズとして後続の火・水・金などとの整合性も取りやすい。

### 2) vendred (金曜日 / Friday)

nginx

Copy

vendred / 金 / 日本語「金曜日」から連想しやすい / 曜日の一文字割当方針を継続

* 選定理由: 「金曜日＝金」として日本語圏では直感的、中国語圏では「周五」とは異なるが、「金」という漢字自体は馴染み深い。
* 学習コスト: 画数8画。曜日セットの中ではやや多めだが、「金」は中国語でも「金属」「お金」などで非常に基本的な漢字。

### 3) lund (月曜日 / Monday)

nginx

Copy

lund / 月 / 日本語「月曜日」からの連想 / 同一方針

* 選定理由: 「月曜日＝月」。
* 学習コスト: 画数4画、基本漢字。

### 4) mard (火曜日 / Tuesday)

nginx

Copy

mard / 火 / 日本語「火曜日」からの連想 / 同一方針

* 選定理由: 「火曜日＝火」。
* 学習コスト: 画数4画、基本漢字。

### 5) merkred (水曜日 / Wednesday)

nginx

Copy

merkred / 水 / 日本語「水曜日」からの連想 / 同一方針

* 選定理由: 「水曜日＝水」。
* 学習コスト: 画数4画、基本漢字。

### 6) in ([接尾辞]女性 / feminine)

nginx

Copy

in / 女 / 女性を示す代表的な1字 / 意味把握が容易

* 選定理由: 「女性」「女」で日中ともに“女性”を強く連想できる。
* 学習コスト: 画数3画と少なく、非常に基本的な漢字。

### 7) nj ([接尾辞]女子愛称 / diminutive feminine)

nginx

Copy

nj / 妮 / 中国語圏で「○○妮」「小妮」等は若い女性を指す愛称に多用 / 「女」偏を再利用

* 選定理由: 「妮(nī)」は中国語で若い女性や愛称に用いられ、女性らしさ・可愛らしさのニュアンスを含む。
* 学習コスト: 8画だが「女」偏を再利用しており、関連づけ学習しやすい。

### 8) bert ([女子名]ベルタ / Berta)

css

Copy

bert / 贝 / 中国語で人名転写に用いる「贝(bèi)」を流用 / 極力簡略化

* 選定理由: 完全な音写「贝尔塔(貝爾塔)」だと3～4文字になるため、1字だけを当てて学習コストを削減。
* 学習コスト: 画数4画。すでに「貝」という字自体は金銭関連等でも基本的。

### 9) henriet ([女子名]ヘンリエッタ / Henrietta)

nginx

Copy

henriet / 亨利 / 一般的な「Henry」の簡体字転写(亨利)を流用 / 短縮形

* 選定理由: 中国語で「ヘンリー＝亨利」が定着しており、Henriettaをフルで音写すると「亨利埃塔」など長くなるため、2文字に簡略化。
* 学習コスト: いずれも比較的頻出の漢字(「享」「利」に似た字形)で、簡体字学習者にもそこそこ馴染みやすい。

### 10) s-ro## (男子の敬称 sinjoro / Mr.)

shell

Copy

s-ro## / 先生 / 中国語の一般的な「Mr.」表現 / 日中ともに敬称と認識しやすい

* 選定理由: 中国語の「先生(xiānshēng)」は「Mr.」「～さん」の意。日本語でも「先生」という語があり、相手を敬うニュアンスがある。
* 学習コスト: 2文字だが、どちらも基本的で筆画もそれほど多くない。

### 11) s-ino## (女子の敬称 sinjorino / Ms.)

shell

Copy

s-ino## / 女士 / 中国語の「Ms.」「～さん」相当 / 「女」と「士」で構成

* 選定理由: 中国語圏で女性敬称として「女士(nǚshì)」は一般的。日本語話者でも「女」と「士」からある程度推測可。
* 学習コスト: 「女」は既出。合計2字で筆画も少なめ。

### 12) sinjor/in## (淑女 / lady)

bash

Copy

sinjor/in## / 淑女 / 「lady」「淑女」相当 / 「女」再利用

* 選定理由: 日本語表記「淑女」と同じ2文字で、中国語でも「淑女(shúnǚ)」は「品の良い女性」の意。
* 学習コスト: 「女」は既出。「淑」はやや画数多め(11画)だが、まとまった熟語として理解しやすい。

### 13) dam (貴婦人 / dame, lady)

nginx

Copy

dam / 夫人 / 「貴婦人」「～夫人」を示す / 上品・丁寧な呼称

* 選定理由: 中国語でも「夫人(fūrén)」は丁寧な女性敬称。「dame」「madam」等に近いニュアンス。
* 学習コスト: 2文字で比較的画数が少ない（夫4画＋人2画）。

### 14) varsovi ([地名]ワルシャワ / Warsaw)

nginx

Copy

varsovi / 华沙 / 中国語の定訳「华沙(huáshā)」 / 地名なので標準訳を優先

* 選定理由: 中国語でワルシャワは「华沙」。日本語でも「華沙」と書いて「ワルシャワ」と読めなくはない。
* 学習コスト: 2字だが地名ゆえ標準形を優先。

### 15) vaŝington ([人名]ワシントン / Washington)

Copy

vaŝington / 华盛顿 / 中国語標準「华盛顿(huáshèngdùn)」 / 有名地名・人名

* 選定理由: ワシントンD.C.等で知られるため、中国語で定着した「华盛顿」を採用。
* 学習コスト: 合計3字だが、既に「华」はvarsoviと共通。

### 16) bulonj ([地名]ブーロニュ / Boulogne)

css

Copy

bulonj / 布洛涅 / 中国語での近い音写「布洛涅(bù luò niè)」 / 標準的転写に準拠

* 選定理由: 有名とは言えパリ近郊などで見かける地名。正確な転写としては「布洛涅」。
* 学習コスト: 3字だが、地名なのでやむを得ず採用。部首（「巾」「口」「氵」「田」など）は既出のものも多い。

### 17) burnus ([服]ブルヌス / burnous)

css

Copy

burnus / 袍 / アラブ風のゆったりした外套「袍(páo)」で代用 / ほぼ同系統のローブ

* 選定理由: 厳密には「burnous」と「袍」は完全一致ではないが、フード付きの伝統衣装として大枠で近い。1字で示せる利点を優先。
* 学習コスト: 10画ほどだが、衣へん「衤」は衣類関連で今後も再利用しやすい。

### 18) london ([地名]ロンドン / London)

nginx

Copy

london / 伦敦 / 中国語標準「伦敦(lúndūn)」 / 世界的都市名

* 選定理由: 中国語では「伦敦」。日本語にも「倫敦」という表記がある程度知られている。
* 学習コスト: 2字。「伦」「敦」は国名・地名などでよく使われる字。

### 19) pariz ([地名]パリ / Paris)

css

Copy

pariz / 巴黎 / 中国語標準「巴黎(bālí)」 / 世界的都市名

* 選定理由: 中国語では「巴黎」。日本語でも当て字として「巴里」と書くことがある。
* 学習コスト: 2字。「巴」は画数少なめ。

### 20) berlin ([地名]ベルリン / Berlin)

css

Copy

berlin / 柏林 / 中国語標準「柏林(bólín)」 / 世界的都市名

* 選定理由: 中国語で「柏林」。日本語でも「伯林」と書く場合もあるが、「柏林」が広く知られている。
* 学習コスト: 2字。「林」は画数少なく初学者にも馴染みやすい。

### 21) he (おい！ / Hey!)

nginx

Copy

he / 嘿 / 注意を喚起する呼びかけ / 日本語「へい！」にも近い

* 選定理由: 中国語圏で「嘿(hēi)」は「おい・ねえ・やあ」に近い呼びかけ。
* 学習コスト: 15画とそこそこあるが、感嘆詞として単独使用頻度は高くない。

### 22) ha (ああ！ / Ah!)

nginx

Copy

ha / 哈 / 驚き・感嘆・笑い声「ハハッ」にも通じる / 単独感嘆

* 選定理由: 中国語の感嘆詞「哈(hā)」は「笑い声」「あっ！」など多彩なニュアンスを表せる。
* 学習コスト: 9画だが、感嘆詞として1字で機能。

### 23) ho (まあ！ / Oh!)

nginx

Copy

ho / 呵 / 中国語の感嘆詞で「呵(hē)」。驚き・軽い声掛け

* 選定理由: 「呵」は「ああ」「おお」など感嘆を広く表す。「哈」「嘿」と並べて母音違いを対応づける例にもなりやすい。
* 学習コスト: 8画。感嘆詞つながりで覚えやすい。

### 24) fi## (チェッ！ / expression of disgust)

bash

Copy

fi## / 呸 / 中国語で「呸(pēi)」は軽蔑・嫌悪感を吐き出す時の擬声

* 選定理由: 「チェッ！」「ブッ！」のような嫌悪・軽蔑ニュアンス。中国語でも「呸」は代表的。
* 学習コスト: 8画。感嘆詞の一環。

### 25) ŭa (ワァ！ / Wow!)

css

Copy

ŭa / 哇 / 驚き・歓声「わあ！」を表す感嘆詞

* 選定理由: 中国語の「哇(wā)」は「わー」「うわー」に相当。
* 学習コスト: 9画。「口」偏なので感嘆詞グループとしてまとめやすい。

ve / 唉 / 悲嘆や落胆を表す感嘆詞として「唉」を選択 / 既出なし

1. dank / 谢 / 「感謝」の意味合いを短く1字で示すのに「谢」が妥当 / 既出なし
2. bon/vol## / 请 / 「どうぞ～する」の丁寧な勧奨として中国語の「请」を採用 / 既出なし
3. ĉe / 在 / 「～に(場所)いる/ある」をもっとも端的に示す文字として「在」 / 既出なし
4. nu / 那 / 文脈によって「さて」「では」のような繋ぎ・注意喚起に使えるため / 既出なし
5. pli/ig## / 加 / 「(数量・程度を)増やす」を最短1字で示すには「加」が適当 / 既出なし
6. daŭr/ig## / 续 / 「続ける」「継続する」を表す簡体字は「续」 / 既出なし
7. hav/ig## / 给 / 「(相手に)持たせる」「与える」として中国語の「给」が簡潔 / 既出なし
8. od / 颂 / 「オード(頌詩)」の意味に近い“頌・称える詩”を表す字として「颂」 / 既出なし
9. ven / 来 / 「来る」をそのまま表す簡体字として「来」 / 既出なし
10. ĉe/est## / 出席 / 1字で表すのは難しく、「出席」を2文字熟語で採用 / 既出漢字なし（新規2字）
11. ĉj## / 哥 / 男性愛称(～ちゃんに相当)のニュアンスを込め、呼びかけに使われやすい「哥」を暫定採用 / 既出なし
12. fraŭl / 单身 / 「未婚男性＝独り身」を表す最も一般的な2字熟語として / 既出の「单」「身」は初出
13. fianĉ / 未婚夫 / 「婚約者(男性)」を正確に示す一般的表現 / 既出なし（3字）
14. sinjor / 先生 / 「紳士」「Mr.」に近い敬称として中立的に通じるため / 既出なし
15. vir / 男 / 「男性」を端的に示す1字として / 既出なし
16. edz / 夫 / 「夫」を最も簡潔に示す字として / 既出なし
17. vilhelm / 威廉 / 中国語における一般的な音訳 / 既出なし（2字）
18. petr / 彼得 / 同じく一般的な音訳 / 既出なし（2字）
19. paŭl / 保罗 / 「パウロ」「ポール」の既存音訳 / 既出なし（2字）
20. romantik / 浪漫 / 「ロマンチック」に最も直結する2字熟語 / 既出なし（2字）
21. romanc / 浪漫曲 / [楽]ロマンス(曲)を示すため「浪漫＋曲」 / 「浪漫」は上記(21)と重複利用可能
22. amor / 爱神 / 愛の神(アモル・キューピッド)を示す2字熟語 / 既出「爱」と新規「神」
23. am / 爱 / 「愛する」を1字で示す最も基本的な簡体字 / (23)と同じ「爱」
24. zamenhof / 柴门霍夫 / 伝統的に見られる音訳表記を尊重 / 既出なし（4字）

hetman

* 提案漢字: 司
* 選定理由: 中国語で司令（指揮・統括）を連想させる字。「司」は「司令官」の「司」に通じ、東欧の「hetman」（司令官格）と対応しやすい。
* 学習コスト: 一文字であり画数も少ない(5画)ので比較的負担は軽い。他の単語への転用例は少ないが、「司」は日本語でも「司る」という形で意味を連想可能。
* kapitan
* 提案漢字(熟語): 船长
* 選定理由: 中国語の「船长」は「船の長(＝船長)」であり、海事のCaptainに相当。日本語母語者にも「船＋長」で「船のリーダー」と理解しやすい。
* 学習コスト: 「船」は日本語の「船」と同形(ただし簡体字では同じ形)。すでに用いた「长」(隊長などで使われる可能性大)との組み合わせなので学習コストを低減できる。
* kaporal
* 提案漢字(熟語): 下士
* 選定理由: 中国語で「下士」は「伍長/軍の最下級下士官」の意に近く、corporal（伍長）に対応。
* 学習コスト: 「下」はごく初歩的な漢字(3画)で、「士」(3画)も軍階層で頻用。どちらも日本語・中国語で非常に馴染みがあり学習負担が少ない。
* major
* 提案漢字(熟語): 少校
* 選定理由: 中国人民解放軍などで「少校」はメジャー(Major)の階級に相当。
* 学習コスト: 「少」は(少ない)、「校」は(学校・上校など)で日本語話者にも形が既知。2文字とも画数が少なく、軍階級としてもポピュラー。
* kolonel
* 提案漢字(熟語): 上校
* 選定理由: 中国語で「上校」はColonel(大佐)に相当。
* 学習コスト: 「上」は(上下)で馴染み深く、「校」は先に登場(major=少校)しているため再利用できる。画数少なめかつ分かりやすい。
* leŭtenant
* 提案漢字(熟語): 中尉
* 選定理由: 中国語において陸軍・空軍の「中尉」はLieutenantに該当(海軍は「上尉」だが、代表的には「中尉」が分かりやすい)。
* 学習コスト: 「中」は(中・中国などで既出にしやすい)4画、「尉」はやや馴染み薄いが軍官階級でしばしば用いられる漢字。
* general
* 提案漢字: 将
* 選定理由: 中国語で「将」(将军の略)は「将軍」を意味し、軍隊最高幹部層のニュアンスを持つ。日本語の「将軍」「大将」などとも近く、連想しやすい。
* 学習コスト: 単一字で分かりやすく、画数も10画(簡体字でも同形)と極端には多くない。
* oficir
* 提案漢字: 官
* 選定理由: 中国語・日本語ともに「官」は官職・オフィサー(将校)など「公的役職」を表す基礎字として直感的。
* 学習コスト: 8画で比較的覚えやすく、他の語根(副官など)でも再利用できるため学習効率が高い。
* serĝent
* 提案漢字(熟語): 中士
* 選定理由: 現代中国軍の下士官階級で、軍曹～伍長に相当するランクに「中士」が存在し、「sergeant」と対応関係が明快。
* 学習コスト: 「中」「士」は既出(または他語根でも利用しやすい)でシンプル。
* herold
* 提案漢字(熟語): 传令
* 選定理由: 「伝令官」(伝令役)を省略して2文字に。「传」は「伝達」(日本語の「伝」)に相当し、「令」は「命令」を連想。
* 学習コスト: 「传」は簡体字で「傳」の略形。画数は比較的少なめ(6画)。「令」(5画)も日本語で「命令」「令和」等から連想しやすい。
* marŝal
* 提案漢字: 帅
* 選定理由: 中国語では「元帅」で「元帥」を意味するが、簡潔化のため一文字「帅」(簡体)を採用。
* 学習コスト: 5画と少なく、かつ「元帅」の略と認識しやすい。日本語の「帥」(旧字体)とも近い。
* stab
* 提案漢字: 幕
* 選定理由: 参謀・幕僚の「幕」に由来し、軍のスタッフ(幕僚団)を連想しやすい。「幕僚」全体でもよいが画数増を避け一文字化。
* 学習コスト: 13画とやや多いが、複数字を使う「幕僚」より短縮できる。「幕」は日本語でも「幕府」「開幕」などで馴染みがある。
* admiral
* 提案漢字(熟語): 海将
* 選定理由: 中国語では正式には「海军上将」(4文字)だが、簡略かつ直感的に「海(海軍)＋将(将軍)」で「Admiral」の意を示す。
* 学習コスト: 「海」は新出(9画)だが、「将」は既出。2文字の組合せで意味を推測しやすい。
* komisar
* 提案漢字(熟語): 委员
* 選定理由: 中国語で「委员」は「委員」「コミッショナー」的ポジションにも通じ、ロシア革命期の「commissar」にも「委员」類似の用例がある。
* 学習コスト: 「委」「员」はどちらも基礎漢字(ともに7～8画程度)。日本語でも「委員」は馴染み深い。
* ministr
* 提案漢字(熟語): 大臣
* 選定理由: 日本語では「大臣」が政府の大臣を表す。中国語では近代公用語だと「部长」だが、日本語との共通認識を優先して「大臣」を採用。
* 学習コスト: 「大」は3画で既出しやすく、「臣」(7画)も「家臣」などで登場可能。古風だが両言語で意味が通りやすい。
* konsul
* 提案漢字(熟語): 领事
* 選定理由: 現代中国語で「领事」は領事館の「領事」に該当し、最も標準的。
* 学習コスト: 「领」(5画)は「領」の簡体字、「事」(8画)は汎用字で既出・再利用可能なため比較的負担が低い。
* prefekt
* 提案漢字(熟語): 知事
* 選定理由: 日本語で「知事」は県知事を指し、歴史的な「prefect」と対応しやすい。中国語ではやや古風/不定だが、「知事」と書けば少なくとも「地方長官」的役割をイメージできる。
* 学習コスト: 「知」は8画で「智」と同源、「事」は既出(领事など)で再利用。2文字のみなので大きな負担にはならない。
* kvestor
* 提案漢字(熟語): 财官
* 選定理由: ローマ史などで「クエストル」は財務官に近い職務。直感的な造語として「财(財)＋官(官職)」。
* 学習コスト: 「财」は簡体字(7画)、「官」は既出。2文字なので組み合わせとして覚えやすい。
* vasal
* 提案漢字: 臣
* 選定理由: 中国語で「臣」は君主に仕える家臣・家来を意味し、日本語でも「臣下」「家臣」で通じる。「vasal(家臣)」の最も端的な一字。
* 学習コスト: 7画と比較的少ない。「大臣」「家臣」など他単語にも含まれる常用字。
* eŭnuk
* 提案漢字(熟語): 宦官
* 選定理由: 中国語・日本語ともに「宦官」は宮廷の去勢官(宦官＝Eunuch)を指し、もっとも直接的。
* 学習コスト: 「宦」はややマイナーだが、「官」は既出で8画。「宦官」で2文字なので意味が明確になる。
* ĉambelan
* 提案漢字(熟語): 侍从
* 選定理由: 「侍从」は宮廷などで側に仕える者の意。「chamberlain」の“側近・侍従”というニュアンスを簡潔に表せる。
* 学習コスト: 「侍」は日本語で「侍(さむらい)」を連想、「从」は「従」の簡体字。2文字合計でも覚えやすい。
* kadet
* 提案漢字(熟語): 士官生
* 選定理由: 士官候補生は日本語でも「士官学校の生徒」と言う。中国語でも「士官生/军校学员」等が近い。「士官生」は直感的に「将校を目指す学生」。
* 学習コスト: 「士」「官」は既出、「生」は簡単(5画)で学生の意味に直結する。
* adjutant
* 提案漢字(熟語): 副官
* 選定理由: 副官は「adjutant」「補佐する将校」で日中ともによく通る表現。
* 学習コスト: 「副」はやや画数が多め(11画)だが、「官」は既出。2文字なので十分コンパクト。
* inkvizici
* 提案漢字(熟語): 宗裁
* 選定理由: 原義は「宗教裁判 (宗教＋審理)」で、中国語だと「宗教裁判」と4文字になる。ここでは「宗(宗教)＋裁(裁き)」の2文字造語で短縮。
* 学習コスト: 「宗」(8画)と「裁」(12画)はやや多いが、2文字に収まる。「宗裁」で“宗教的な裁判”の意を推測可。
* inkvizitor
* 提案漢字(熟語): 宗裁官
* 選定理由: 上記「宗裁」に「官(職務者)」を付し、「宗教裁判官 = inquisitor」の意味が明快。
* 学習コスト: 「官」は既出、「宗」「裁」も直前(inkvizici)と共通。3文字で分かりやすい分、追加学習コストは小さい。

inspektor / 监 / 「監視・監督」の意をもち査察官の意味合いに近い / 1文字で表せ、画数も比較的少ない

1. revizor / 审 / 「審査・審理」の意があり監査・検察官的なニュアンスに対応 / 監(1)と同様、1文字で表現でき学習負担を抑えられる
2. delegaci / 代 / 「代理・代表」の意。代表団の派遣にも通じる / 同じ「代」を後続の類似概念でも再利用予定
3. reprezent / 代 / 「～を代表する」の意に近く、単一字で表現しやすい / delegaci と同字を使い、学習コスト低減
4. deput / 代 / 「議員などに指名・派遣する」の意も「代理」の一種と捉えやすい / 同上(「代」の再利用)
5. notari / 证 / 「証明・公証」の意味合いが強い / 漢字1文字で「公証人」を連想させるため学習しやすい
6. kurator / 管 / 「管理・保管」のニュアンスから管財人・監護の意味にも近い / 新出だが使用頻度の高い字で理解しやすい
7. agent / 代 / 「代理人」の意味なので「代」を継続利用 / 既出の「代」を再利用
8. advokat / 律师 / 中国語で「弁護士」に相当する常用語。1文字では難しいため2文字熟語 / 「師」は mentor にも流用しやすい
9. asesor / 评审 / 「評価(评)＋審査(审)」＝陪席判事や査定役のニュアンスに近い / 「審」は既出で、新規は「评」のみ
10. mentor / 师 / 「師(教師・指導者)」の意を単独で用いて指導者を表す / advokat(律师)で使った「師」を再利用
11. orator / 讲家 / 「講(語る)＋家(～家)」で演説者・弁士を表す / 後述の「-ist=家」も一緒に使うことで学習負担減
12. profet / 先知 / 中国語で「先知」は預言者の定訳 / 2文字熟語だが、直感的に意味が伝わる
13. ist / 家 / 「～する人・専門家」を意味する接尾辞として「家」を充てる / orator(講家)などで活用可能
14. patron / 保 / 「保護・後援」のニュアンスが強い / 1文字で「守る」感覚を示し、日本語でもイメージしやすい
15. anonim / 匿名 / 漢語として定着しており「名を隠す」の直感的意味 / 「名」は後続でも用いる予定
16. pseŭdonim / 假名 / 「仮の名前」＝偽名・筆名のイメージ / 「假」は次の pseŭd にも流用
17. pseŭd / 假 / 「仮・偽物」の意を直接表す / pseŭdonim(假名)と対で理解しやすい
18. nom / 名 / 「名前」を直接示す最も基本的な字 / 他の複合(匿名・假名など)でも再利用
19. titol / 题 / 「題名・タイトル」の意。中国語で“标题”にも含まれる / 単一字で「題」を表し、日本語圏にも馴染み深い
20. nominal / 名义 / 「名目上」の意で中国語にも「名義」「名义」の表現あり / 「名」は既出、新規は「义」のみ
21. nominativ / 主格 / 中国語で文法用語「主格」の定訳 / 2文字熟語だが文法用語として一般的
22. fam / 有名 / 「有名」の形で「名高い」を分かりやすく表す / 「名」は既出、新規は「有」のみ
23. virtuoz / 名人 / 「名人・達人」の意で日中共通に“有名で技量が高い人”を表す / 「名」は既出、新規は「人」
24. reputaci / 名声 / 「名声・評判」の意。中国語でも「名声」は一般的 / 「名」は既出、新規は「声」のみ

honor / 荣 /

* + 選定理由: 「荣」は簡体字で「榮」の略。中国語では「光荣(栄光)」「荣誉(名誉)」などの語に含まれ、「名誉」「名声」に近い意味をもつ。日本語での「栄誉」に通じるため、意味が類推しやすい。
  + 学習コスト: 下記(2)「glor」でも同じ「荣」を使い回す予定で、重複割当による偏旁数削減が可能。

1. glor / 荣 /
   * 選定理由: 上記(1)同様、栄光・光栄を指す「荣」を再利用。「光荣(グローリー)」「荣耀」などの形で「栄光」の意味を帯びる。
   * 学習コスト: (1)と同じ文字「荣」を使うことで、学習する漢字の種類を増やさずに済む。
2. prelat / 主教 /
   * 選定理由: カトリック教会などの高位聖職者(司教や主教、総主教など)を指す語として、中国語では「主教」が比較的広く用いられる。
   * 学習コスト: 「主」「教」はそれぞれ画数は多めだが、他の宗教関連にも転用可能な要素。もし今後「主」「教」を再利用する場面があれば学習コスト削減に寄与。
3. superlativ / 最 /
   * 選定理由: 「最」は「最上級」を示す際に用いられる漢字で、「もっとも～」「最も高い～」のニュアンスを単字で表せる。日本語にも通じる。
   * 学習コスト: 画数も9画と極端に多くはなく、意味も推測しやすい。
4. eminenc / 阁下 /
   * 選定理由: 枢機卿など高位聖職者への呼称「～台下」「～猊下」を中国語では概ね「阁下」(敬称)で代用することも多い。厳密には用法に差があるが、本プロジェクトでは尊称としてまとめる。
   * 学習コスト: 下記(6)(7)でも「阁下」を使い回すことで、新規漢字の重複を避ける。
5. moŝt / 阁下 /
   * 選定理由: 「(尊称)閣下」を中国語では「阁下」とするのが一般的。
   * 学習コスト: (5)(7)と同じ熟語を割り当てることで一貫性を保ちつつ学習負担を抑える。
6. ekscelenc / 阁下 /
   * 選定理由: 「Excellency(閣下)」も中国語では「阁下」で対応できる。
   * 学習コスト: (5)(6)と同一熟語を再利用。
7. for/est## / 不在 /
   * 選定理由: 「不在」は「(そこに)いない、欠席している」を意味する最も直接的な表現の一つ。「absence」のニュアンス。
   * 学習コスト: 「不」は下記(16)「ne」で既出予定、「在」はやや新規だが汎用性が高い。
8. ajn / 凡 /
   * 選定理由: 「どんな～でも」「いかなる～でも」のニュアンス。中国語で単字のまま“あらゆる・すべて”を示すには「凡」が比較的近い(「凡是…」など)。
   * 学習コスト: 単字で済むうえ画数(3画)も少なく覚えやすい。
9. nenial / 无故 /

* 選定理由: 「理由なく」「無故に」を示す表現。「无故」は「何の理由もなく」を意味する慣用的な短い言い方。
* 学習コスト: 「无」は既出(後述の他語根でも再利用多数)、「故」は新出だが比較的意味を推測しやすい。

1. neniel / 绝不 /

* 選定理由: 「どうしても～ない」「決して～ない」の強い否定。「绝不」は「絶対に～ない」というニュアンス。
* 学習コスト: 「不」は既出。「绝」(簡体字で「絶」の略形)は新規だが否定を強調する際に有用。

1. nenies / 无主 /

* 選定理由: 「誰のものでもない」「所有者がいない」を指す。「无主」＝「主(あるじ)無し」。
* 学習コスト: 「无」は既出、「主」は(3)「主教」で既出。両方の再利用となる。

1. neniu / 无人 /

* 選定理由: 「誰もいない・誰の～もない」＝「无人」(no one, nobody)の意。
* 学習コスト: 「无」は既出、「人」は新出だがごく基本的な漢字。

1. neniu## / 无人 /

* 選定理由: 上記(13)と同義のため同じ形で対応。
* 学習コスト: (13)と同一割当。

1. sen / 无 /

* 選定理由: 「～なしで」「～のない」の意。中国語で「无」を用いて「Without」を表すことが多い。
* 学習コスト: 単字。「无」は(10)「无故」などで既出。

1. ne / 不 /

* 選定理由: もっとも基本的な否定表現。「不」は中国語における代表的な否定詞。
* 学習コスト: 既に(8)「不在」や(11)「绝不」などで登場。頻出なので早期習得に適する。

1. neniom / 全无 /

* 選定理由: 「少しも～ない」「全く～ない」を強調する2文字表現。「全无」は「全く(まったく)無い」の意。
* 学習コスト: 「无」は既出、「全」は新出だが汎用性が高い。

1. nenia / 无 /

* 選定理由: 「どのような(種類の)～もない」を示す否定だが、単字の「无」で包括的に「～無し」と対応。
* 学習コスト: (15)「sen」と同じ「无」を再利用し、一貫した否定・欠如のイメージを保つ。

1. nek / 也不 /

* 選定理由: 「～もまた～ない」「neither A nor B」のニュアンス。中国語では「也不…」などで表せる。
* 学習コスト: 「不」は既出、「也」は新出だが画数は3画。

1. nenie / 无处 /

* 選定理由: 「どこにも～ない」「無処」「無い場所」を意味する「无处」。
* 学習コスト: 「无」は既出。「处」(簡体字で「処」の略)が新出。

1. neniam / 永不 /

* 選定理由: 「決して～ない」「一度も～ない」を示す表現。中国語では「永不…」(永遠に～ない)がわかりやすい。
* 学習コスト: 「不」は既出、「永」は新出だが意味を推測しやすい常用字。

1. tia / 那样 /

* 選定理由: 「そんな・あんな(＝そんな様子・あのような状態)」に相当し、中国語で「那样」が「そういう(ああいう)形・状態」を示す。
* 学習コスト: 「那」「样」は新出だが、ともに日常でも頻出し学習価値は高い。

1. t.e. (tio estas) / 即 /

* 選定理由: 「すなわち」「つまり」を一字で表せる。「即」は日本語でも「即ち(すなわち)」。
* 学習コスト: 単字。「即」は新出だがやや画数少なく、論理展開や説明に多用。

1. ĝi / 它 /

* 選定理由: 「それ(人間以外のもの)」に相当する三人称代名詞。中国語で「它」は「it」の意味合い。
* 学習コスト: 新出だがきわめて基本的な代名詞。

1. tiu ĉi## / 这 /

* 選定理由: 「この」「これ」を指すとき、中国語では簡体字の「这」を用いる。
* 学習コスト: 新出漢字だが「これ」を表すもっとも一般的な字。

tiam / 那时 / 「その時」を意味する自然な表現 / 「那」は“that”として再利用可、「时」は画数が比較的少なく学習しやすい

1. do / 那么 / 「では」「そうすると」を表す常用表現 / 「那」の再利用＋「么」は画数少なめ
2. jen / 看 / 呼びかけ・注意喚起「見よ」「ほら」に近い用法 / 単独で「見る」意味だが比較的分かりやすい
3. tie / 那里 / 「そこ」「あそこ」に相当 / 「那」の再利用＋「里」は場所を表し、今後「这里」にも流用
4. tie ĉi## / 这里 / 「ここ」を意味 / 「里」は既出、「这」は“this”として覚えやすい
5. ĉie / 到处 / 「いたる所」「どこでも」を表す一般的表現 / 「到」「处」は日中ともによく用いられ認知度高い
6. kie / 哪里 / 「どこ」を尋ねる中国語の基本形 / 「哪」は後の「kia」でも再利用、「里」は既出
7. ie / 某处 / 「どこか」を表す / 「处」は既出で学習コスト低、「某」は新出だが画数少なめ
8. kia / 哪样 / 「どんな」「どのような」(口語的) / 「哪」は既出、「样」は日本人には「様」の簡体字としてなじみあり
9. kies / 谁的 / 「だれの」を表す / 「谁」は新規だが「だれ」を示す字として直感的、「的」は中国語で所有・修飾を示す必須字
10. kiu## / 谁 / 「だれ」を問う / 「kies」と同じ「谁」を再利用し学習量削減
11. kiu / 谁 / 同上(「だれ」「どれ」含意) / 同じく「谁」を再利用
12. jes / 是 / 肯定(Yes)を表す代表的な簡体字 / 日本語話者にも「正しい」「〜です」などの連想で分かりやすい
13. se / 若 / 漢文で「もし〜なら」を表す語(「もし」を古風に書くと“若し”) / 画数が少なく覚えやすい
14. sed / 但 / 「しかし」を表す / 画数が少なく、接続詞として頻出
15. kvankam / 虽 / 「〜にもかかわらず」「たとえ〜でも」を古風に端的に表す / 画数が少なく短い
16. tamen / 但 / 「しかしながら」「それでも」を表す / 「sed」と近い意味ゆえ同字で再利用
17. tamen## / 但 / 同上 / 再利用
18. eĉ## / 连 / 「〜さえ」「〜ですら」を表す常用語 / 日本語「連(つら)なる」のイメージで比較的推測しやすい
19. ankoraŭ / 还 / 「まだ」「依然として」を表す / 日中双方で認知度高、画数も7画程度
20. kiom / 多少 / 「どれくらい」「いくつ」を尋ねる定番表現 / 「多」と「少」は初学レベルで分かりやすい
21. kiom## / 多少 / 同上 / 再利用
22. kiom## / 多少 / 同上 / 再利用

kelk / 些 / 「いくつか」「少し」を示す“些”に対応 /

* + 同じ“些”を iom にも流用予定。

1. iom / 些 / kelk と同様、「ある程度・多少」の意味を“些”に統一 /
   * kelk と同字割当で、学習コストを低減。
2. mult / 多 / 「多くの」「多数」を直接表す“多”を割当 /
   * 画数が少なく、日本語「多い」、中国語「多」と同根でわかりやすい。
3. tiom / 多 / 本来「そんなに多い」という意味だが、単字で厳密対応は難しいため “多” に集約 /
   * 「that many」のニュアンスを簡略化して“多”を再利用。
4. plej / 最 / 「最も」「一番」を表す代表的な字 “最” を割当 /
   * 画数も9画ほどで、日中双方で「最○」の形で馴染み深い。
5. maksimum / 最大 / 「最大」を示す二字熟語“最大”を採用 /
   * 単字「最」だけでは名詞「最大値」の感じが弱いため、“最大”とした。
6. almenaŭ / 至少 / 「少なくとも」を示す標準的表現“至少” /
   * 単字で「最低限」を示す字が見当たらないため二字熟語。
7. minimum / 最小 / 「最小」を示す二字熟語“最小” /
   * maksimum と対になる形。
8. ĉia / 各种 / 「あらゆる種類」「いろいろな」を示す代表的表現“各种” /
   * 「各」＋「种」で「さまざまな種」。日中で意味を推測しやすい。
9. tut## / 全 / 「まったく」「全部」を表す“全”に対応 /
   * 後述の tut, ĉiom でも同じ“全”を活用予定。
10. ĉiom / 全 / 「数量的にすべて」「全部の量」という意味だが、“全”に集約 /
    * 「すべて」の概念として tut と同じ字を流用し学習コストを低減。
11. tut / 全 / 「全部・全体」を示す “全” /
    * tut## と同字。単字で「すべて」を表しやすい。
12. respektiv / 各 / 「それぞれ」を意味する“各”を割当 /
    * 本来「各自」「分别」とも近いが、一字に簡略化。
13. po / 每 / 「～ずつ」「各々に配分」の意味を“毎(每)”に対応 /
    * 中国語・日本語で「毎回」「毎人」など、分配ニュアンスに近い。
14. ĉies / 每 / 「みんなの（所有）」「各人のもの」を一字にするのは難しいため、“毎”で流用 /
    * ĉiu 系列をすべて “每” に統一（必要ならダイアクリティックなどで区別）。
15. ĉiu / 每 / 「各々」「誰でも」「毎」の感覚を“每”で割当 /
    * 日本語「毎○」・中国語「每○」と親和性が高い。
16. ĉiu## / 每 / 上記と同根のため、同じ“毎(每)”に集約 /
    * ĉiu の派生形として扱う。
17. ju / 越 / 「～すればするほど」に対応する中国語の“越…越…”から“越”を採用 /
    * 後述の des と対で使われる場面が多いため、同じ字を使い回し可能。
18. ol / 比 / 「～よりも」「比較」を示す最適単字 “比” /
    * 日中で「比べる」の意味が分かりやすい。
19. des / 越 / 「それだけいっそう」「ますます」の意味で“越”を再利用 /
    * 「ju…des…」＝「越…越…」の構文と対応。
20. pli / 更 / 「より（いっそう）」「さらに」を示す基本字 “更” /
    * 中国語で「更加」「更～」などの形を連想しやすい。
21. plu / 再 / 「さらに続けて」「もう一段」「再び」のイメージを “再” に割当 /
    * 「また」「さらに」を示す字として日中どちらにもなじみがある。
22. preter / 过 / 「～を通り過ぎて」「そばを通って行く」の意味を “过” に対応 /
    * “过” は「通過」「越える」なども含意。pas と同字にする。
23. pas / 过 / 「通る」「過ぎる」をそのまま “过” で統一 /
    * preter と同様、通過のイメージで再利用。
24. sur / 上 / 「～の上に」「上で」に相当する単字 “上” /
    * 日本語・中国語ともに「上」を「うえ」「shàng」と読め、意味が取りやすい。

trans / 过 /  
　- 「通り過ぎる」「超える」等の意味を持つ“过”(簡体字)は「跨ぐ・越える」に近く、「across, beyond」に対応しやすい。  
　- 既出なし(初登場)。画数(6画)は比較的少なめで汎用性も高い。

1. kontraŭ / 反 /  
   　- 「反対・対抗・逆らう」を示す“反”は“against”のニュアンスに合う。  
   　- 既出なし(初登場)。画数(4画)も少なく取り回しやすい。
2. al / 向 /  
   　- 「~の方へ」「~に向かって」は、漢語の“向”と概念的にほぼ一致。  
   　- 既出なし(初登場)。中国語で方向を示す“向”は日本語でも「向かう」として認識しやすい。
3. ĉiam (“いつも”) / 常 /  
   　- 「常に」「常時」の“常”は「いつも」という意味を表しやすい。  
   　- 既出なし(初登場)。画数はやや多め(11画)だが、日本語でも「常に」で馴染みがあり意味推測しやすい。
4. oft (“たびたび, しばしば”) / 频 /  
   　- “频”(繁体字は「頻」)は「頻繁」の“頻”にあたり、「しばしば・頻度が高い」に対応。  
   　- 既出なし(初登場)。日本語「頻度」の字なので、やや画数(7～8画)はあるが意味の連想はしやすい。
5. kiam (“いつ？”) / 何时 /  
   　- 現代中国語で「いつ？」を尋ねる際の“什么时候”の短縮形として「何时」も用いられる(やや文語的)。  
   　- 2文字熟語だが、「何(なに)」「時(とき)」という日本語の要素で「いつ？」を連想しやすい。  
   　- 新出字として「何」「时(時の簡体)」が登場。今後「时」を他の時間関連で使い回し可能。
6. iam (“ある時, かつて, いつか”) / 某时 /  
   　- 「ある時」を示す“某时”は「いつか(ある時点で)」というニュアンスに対応。  
   　- 「某」は「ある～」「某国」のように日中で比較的共通の語感がある。  
   　- 「时」はすでに(6)で使用したため新規は「某」のみ。
7. ia/foj## (“ある時”) / 某时 /  
   　- 「ある時(ある機会)」という意味合いなら、(7)と同様に“某时”を流用可能。  
   　- 同じ表記だが、学習時には上付き文字や振り仮名などで区別する運用も想定。
8. adiaŭ (“さようなら”) / 再见 /  
   　- 中国語の決まり文句「再见」は「また会う(=さようなら)」に相当。  
   　- 2文字熟語。日本語でも「再会」「面会」等の要素で「見」が分かりやすく、意味連想しやすい。
9. jam (“既に, もう”) / 既 /  
   　- 日本語「既に」で「すでに、もう」の意。“既”は中国語でも「既…又…」など「すでに…かつ…」の形で用いる。  
   　- 既出なし(初登場)。画数(6～7画)程度。
10. antaŭ (“(~の)前に”) / 前 /  
    　- 「前」という字で「手前・事前」等のニュアンスを共通認識しやすい。  
    　- 既出なし(初登場)。
11. anticip (“前もってする, 予期する”) / 预 /  
    　- 簡体字“预”(繁体「預」)は「予め」「予測」「予期」の意味で、中国語でも“预料”“预见”などに用いる。  
    　- 既出なし(初登場)。日本語の「予想」「予期」等とは字形が若干異なるが、対応付けはしやすい。
12. apenaŭ (“かろうじて, ほとんど～ない”) / 仅 /  
    　- “仅”(繁体「僅」)は「わずかに」「かろうじて」の意味。「仅仅…」＝「かろうじて…」に近い。  
    　- 既出なし(初登場)。比較的画数(4画)が少なく、学習コストは低め。
13. apenaŭ## (“かろうじて, ほとんど～ない”) / 仅 /  
    　- 上記(13)と同義なので同一割当でよい。
14. aŭ (“または, or”) / 或 /  
    　- “或”は「あるいは」「もしくは」を表し、“或者”の略とも捉えられる。  
    　- 既出なし(初登場)。
15. ĉu## (“~かどうか”) / (未対応 or 同じく「吗」でも可) /  
    　- こちらは“##”付きで「語根ではない」とあるため、割当を省略してもよい。  
    　- 必要なら yes/no 疑問を示す“吗”を流用しても構わない。
16. ĉu (“~か？” yes/no質問) / 吗 /  
    　- 現代中国語の文末疑問助詞“吗”が「~ですか？」に対応。  
    　- 既出なし(初登場)だが、シンプルに疑問文を連想可能。
17. kvazaŭ (“まるで(~の)ように”) / 如 /  
    　- “如”は「もし～ならば」「～のように」の文言的用法を持ち、現代中国語の“如果”(もしも)にも通じる。  
    　- 既出なし(初登場)。画数(6画)も比較的少ない。
18. kvazaŭ## (“まるで(~の)ように”) / 如 /  
    　- 同義・同根のため、(18)と同じ割当で可。
19. probabl (“ありそうな, おそらく”) / 或许 /  
    　- 中国語で「おそらく」を表す“或许”(“或”+“许”)は「多分、恐らく」に相当。  
    　- 2文字熟語。「或」は(15)で既出。“许”のみ新出(6画)。
20. ebl (“可能(受身), ~できる”) / 可 /  
    　- “可”は「可能」「許可」「できる」等、英語の“can/may”に近い意味を持つ。  
    　- 既出なし(初登場)。画数(5画)で比較的シンプル。
21. sub (“~の下に”) / 下 /  
    　- 「下」という漢字は、中国語でも「下(xià)」として「下方」を示す。  
    　- 既出なし(初登場)。画数(3画)と極めて少ない。
22. post (“~の後で”) / 后 /  
    　- “后”(繁体「後」)は「後ろ」「…の後」を表す最も基本的な字。  
    　- 既出なし(初登場)。
23. dum (“(~する)間, ~の間ずっと”) / 间 /  
    　- “间”(繁体「間」)は「間隔」「～の間」「期間」を示す常用字。「在…期间」で「～の間」を表す。  
    　- 既出なし(初登場)。
24. dum## (“(~の)間”) / 间 /  
    　- 同義かつ“##”付きなので、(24)と同じ割当で可。

inter/间/「間」を表す意味に近く、日本語の「間」に相当し双方に理解しやすい/画数は7画程度で比較的少ない

en/中/「中」は「…の中」を示し、シンプルで日中双方に馴染みがある/4画と画数が少なく学習しやすい

konsist/成/「成立」「構成」などの語にも使われる字で「～から成る」のニュアンスがある/6画で比較的少ない

de/的/現代中国語で所有・由来などを示す助詞で、エスペラントの「de」に近い機能/最頻出字の1つで学習優先度が高い

el/出/「出る」「出す」の基本義が「…の中から」を示しやすい/5画で比較的覚えやすい

ĝis/至/「至る」「到る」の意味があり、「…まで」に対応できる/6画で比較的簡単

ĝis##/至/同上(「～まで」の意味)、重複利用で学習コストを抑える/既出字ゆえ新規学習不要

per/以/「…をもって」「…によって」を示す用法があり、エスペラントの「per」に近い/5画でシンプル

pri/关于/「…について」を表す標準的表現/2文字熟語だが「关」「于」はどちらも比較的画数が少ない

tra/通/「通る」「通過」など「…を通して」の意味を持つ/10画だが日中双方で認知度は高い

k.t.p./等/「など」を表す漢字として中国語でも「等等」などに使われる/12画とやや多いが用途は広い

kun/共/「共に」「一緒に」を端的に示す/6画で比較的少なく、日本語でも「共同」の語感がある

ankaŭ/也/古来より「…もまた」の意味合いをもち、文語にも残存/3画と画数が非常に少なく学習しやすい

kaj/和/中国語で「…と…」「そして」の接続を示す最も一般的な字/8画だが日本語の「和」と同形で認知度が高い

potenc/力/「ちから」「勢力」「パワー」の意味をもつ基本字/2画と極めて少なく有用性が高い

aŭtoritat/权/「権利」「権威」を指す字で中国語では「权威」「权力」などに使われる/6画で、後述語とも連動しやすい

reg/治/「統治」「政治」を指し、「治める」の意味が明確/8画だが「治安」「自治」など日中で馴染み深い

hegemoni/霸权/「覇権」に相当する標準的な2文字熟語/「权」は既出で流用、ただし「霸」は画数多め

regent/摄政/「摂政」に対応する標準的な2文字熟語/「摄」は簡体字で11画、「政」は9画

prerogativ/特权/「特権」を意味する2文字熟語/「权」は既出で重複利用、「特」は10画

administr/理/「管理」「処理」などの要素を含み、エスペラントの「管理する」に近い/11画だが「理解」「整理」などで馴染みがある

administraci/司/「司る」「担当する」の意味があり、機関名(～司)にもよく用いられる/5画と比較的少ない

direktor/长/「長」「首長」「長官」といった主官・責任者のイメージ/簡体字で4画、日本語の「長」と同形

intendant/管家/「執事」「管家」に相当する2文字熟語/「管」は管理の意を含み画数多めだが「家」との組合せで意味が明瞭

prezid/主/「主宰」「主持」などの語感があり、議長を務めるニュアンスに近い/5画で比較的簡単

mastr / 主 /

* + 選定理由: 「主人」「主宰者」を連想しやすい。日中ともに「主」は「ある事柄を支配する人・中心人物」というイメージ。
  + 既出・学習コスト: 1文字なので比較的覚えやすい。

1. ĉef / 首 /
   * 選定理由: 中国語で「首领（リーダー）」「首席（主席）」など、「最も重要な」「最初の」を表す。日中いずれも「首＝おさ、かしら」の連想が容易。
   * 既出・学習コスト: 新規1文字導入。
2. estr / 长 /
   * 選定理由: 中国語の「首长」「队长」など、「～長」「リーダー」に用いられる。簡体字の「长」は画数が少なく覚えやすい。
   * 既出・学習コスト: 新規1文字。「長」として日本語でも“～長”のニュアンスを感じられる。
3. mastr/um## / 家务 /
   * 選定理由: 「家务(家事・家の用事)」は日常語として「家政」「家事」に近く、家の管理・家事を担うイメージに合致。
   * 既出・学習コスト: 2文字だが、いずれも常用で比較的イメージしやすい。「家」は“いえ・うち”の感覚で日中共通認知度が高い。
4. vart / 养 /
   * 選定理由: 中国語「培养」「抚养」など、「育てる」「養う」といったニュアンスに対応。
   * 既出・学習コスト: 1文字導入。「保育」に相当する感覚を簡潔に示せる。
5. zorg / 关心 /
   * 選定理由: 「世話をする」「気にかける」「心配する」の意味を広くカバーするには「关心」が最も一般的。
   * 既出・学習コスト: 2文字。「关(関)」「心」はどちらも初出だが、画数は比較的少なく、日中ともに意味を推測しやすい。
6. fleg / 护 /
   * 選定理由: 中国語「护理(看護)」「看护」に含まれる「护」。看護や保護・守るイメージで対応可。
   * 既出・学習コスト: 新規1文字。画数7(簡体)で比較的少ない。
7. kelner / 侍 /
   * 選定理由: 本来「侍者」「侍应(サービスする人)」などの語に通じる。モダン中国語ではやや古風だが、「侍者＝給仕」の連想は可能。
   * 既出・学習コスト: 新規1文字。やや古風だが短く分かりやすい。
8. serv / 服 /
   * 選定理由: 中国語「服务(奉仕・仕える)」の主要部分として「服」があり、「人に仕える」「従う」イメージを抽出。
   * 既出・学習コスト: 新規1文字。日本語でも「服従」「服務」などの形で意を汲み取りやすい。
9. deĵor / 值 /

* 選定理由: 中国語「值班(当直する)」「值日(当番)」などで使われ、「直務」を担う意味合いに近い。
* 既出・学習コスト: 新規1文字。画数10だが、「値(値段)」の簡体と同形で連想しやすい面も。

1. meti / 工 /

* 選定理由: 「手仕事」「工芸」に対応しやすい。簡体でも同形の「工」は「工業」「工事」等、広く「仕事」を連想可能。
* 既出・学習コスト: 新規1文字。筆画3画で極めて簡単。

1. profesi / 职 /

* 選定理由: 中国語「职业(職業)」の主要構成要素。職業・専門職を示す字としてわかりやすい。
* 既出・学習コスト: 新規1文字。「耳+只」の形で覚えやすいという意見も。

1. karier / 业 /

* 選定理由: 「事业」「职业」など「キャリア・事業」の含意に近い単字。
* 既出・学習コスト: 新規1文字。日本語の「業」に対応し、職業やキャリアの連想が可能。

1. rol / 角色 /

* 選定理由: 中国語で「角色」は「役割・役柄」を意味する常用語。日本語でも「角色(かくしょく)」で「役」の字が含まれるため何とか推測可。
* 既出・学習コスト: 2文字。「角」「色」ともに覚えやすく、別文脈でも使う頻度が高い。

1. servut / 奴役 /

* 選定理由: 「奴役」は「奴隷として酷使する」「隷属させる」という意味が強く、封建時代の夫役・農奴制を連想しやすい。
* 既出・学習コスト: 2文字。「奴」「役」はどちらも日中で「強制労働」「従属」イメージをつかみやすい。

1. posten / 岗 /

* 選定理由: 中国語「岗位」で「持ち場」「ポスト」「部署」を示す。「岗」単体でも「崗(岗)＝見張り台・任務地」の意味がある。
* 既出・学習コスト: 新規1文字だが、よく使われる「岗位」の略として覚えやすい。

1. ofic / 官 /

* 選定理由: 「官職」「官吏」などの公的職務を想起。「公職」「職能」のニュアンスにも対応できる。
* 既出・学習コスト: 新規1文字。8画で比較的シンプル。

1. task / 任 /

* 選定理由: 中国語「任务(任務)」の核となる字。「任務」「責任」を連想しやすく、課せられたタスクという意味にも合致。
* 既出・学習コスト: 新規1文字。日本語でも「責任」「任命」など「任」は馴染みがある。

1. labor / 劳 /

* 選定理由: 「劳动(労働)」「劳力(労力)」などに用いられ、物理的・肉体的な「働く」のニュアンスを表しやすい。
* 既出・学習コスト: 新規1文字。「劳」と「工」を使い分けて区別するのもあり。

1. okup / 占 /

* 選定理由: 「占领(占領する)」「占据(占める)」「占用(占有)」など空間・地位を占める意味に合う。
* 既出・学習コスト: 新規1文字で画数少なめ(5画)。

1. dung / 雇 /

* 選定理由: 中国語「雇佣(雇う)」の核心要素で、短く「雇」のみで「雇う・雇われる」の意味が伝わる。
* 既出・学習コスト: 新規1文字。日本語の「雇用」と同形。

1. legitim / 证 /

* 選定理由: 「(身分などを)証明する」ニュアンス。中国語「证明」や各種「证件」に通じる。
* 既出・学習コスト: 新規1文字。次の「pruv」「atest」にも流用。

1. pruv / 证 /

* 選定理由: 「(事実を)証明する」「証拠づける」と同義で、上記と同じ「证」で統一可能。
* 既出・学習コスト: 既に「legitim」で使用した「证」を使い回し。

1. atest / 证 /

* 選定理由: 「(証言する・証明書を発行する)」など、証明行為全般に活用しやすい。
* 既出・学習コスト: 既出の「证」を使い回し、一貫して「証明関連」を1字で済ませる。

1. konstat / 定 /

* 選定理由: 「確認する」「確定する」「はっきり見極める」などの意を、簡潔に「定(决定・确定)」で表現。
* 既出・学習コスト: 新規1文字(8画)だが、日本語「決定」や「確定」との共通イメージを持ちやすい。

1. konfirm / 定 / 「确定(確認・確定)」などで使われる字。確認・確定のニュアンスを単字で表しやすいため選定 / 他の「定○」(決定・定義など)と同じ字なので学習コストを抑えられる
2. sankci / 许 / 中国語で「允许(許可する)」「许可(認可)」の要素となる字。“承認・許諾”的な意味合いが強いため / 後述の“permes, licenc”とも同じ字を流用することで学習負担を軽減
3. permes / 许 / 「許可」「允许」の核心となる字。許すイメージに近い / “sankci, licenc”と同字で使い回し
4. licenc / 许 / 「license(許可証)」は中国語で「许可证」。その基幹字「许」を流用 / すでに割り当て済みの“许”を再利用
5. definitiv / 定 / 「確定的」「最終的に定まる」など“決まった”ニュアンスをもつため / “konfirm, decid, determin, difin”と同じく「定」で統一
6. decid / 定 / 「决定(決定)」で用いられる「定」。意思決定・結論のイメージ / 同じ「定」グループなので学習しやすい
7. determin / 定 / 「確定」「規定」「限定」などに用いられる「定」 / 前出の“decid, definitv”などとも統一
8. diagnoz / 诊 / 中国語「诊断(診断)」の前半に当たる字。医療文脈で“診る”意味がわかりやすい / 画数5画(扌＋冫＋又の簡化)と比較的少なく習得しやすい
9. difin / 定 / 「定义(定義)」の基幹字。定義づけ・限定するニュアンス / すでに多用している「定」の再利用
10. disting / 别 / 「区别(区別する)」「分别(分ける)」で使う字。判別・区別の感覚がわかりやすい / 既出の「定」などとも偏旁が被らず、用途がはっきりしている
11. pek / 罪 / 宗教的・道徳的な「罪」をイメージしやすい単字。中国語・日本語双方で“罪(つみ)”と読める / 下記 “kulp, krim” と同じ「罪」に集約
12. kulp / 罪 / 有罪・罪責(責任)を表すための字として同じ「罪」を流用 / “pek, krim”と同一字にまとめ、学習コストを低減
13. krim / 罪 / 犯罪を意味する語根だが、単字「罪」で「犯罪」「罪行」を広くカバー / 同上 “pek, kulp” と同字
14. pun / 罚(罰の簡体字) / 中国語「惩罚(懲罰)」「罚款(罰金)」などに使われる、罰を表す代表的な字 / 5画と比較的画数が少なく、ペナルティ全般に使える
15. kondamn / 判 / 「判決」「宣判」「判罪」など“裁判・判定”の意味を持つ字。罪を確定し下すイメージ / 後述の「juĝ」(裁く)とも同字で再利用
16. kriminal / 犯 / 中国語で「罪犯(犯罪者)」の主要字。“犯人”とも直結しやすい / 単字「犯」は5画と少なく覚えやすい
17. ekzekut / 处决 / 死刑執行を強調する標準的な2字熟語(“処決”の簡体形)。1文字では表現が難しいため熟語を採用 / 「处」「决」はどちらも画数が少なく比較的習得しやすい
18. akt / 幕 / 演劇などの「幕(一幕)」を表す字。日本語でも「幕(まく)」として馴染みがある / 画数13だが演劇文脈では最適
19. proces / 讼 / 「诉讼(訴訟)」の後半字。訴訟・裁判手続きをイメージしやすい / 一文字で“訴訟”を代表できるので採用
20. procedur / 程序 / 法的手続や一般的な「プロセス」「手順」を意味する標準的2字熟語 / 「程」(段階・工程)と「序」(順序)により“手続き”感がわかりやすい
21. konstituci / 宪 / 「宪法(憲法)」「宪政(憲政)」などで使う字。日本語の「憲」に相当 / 1文字で“憲法”の概念を端的に示すため選定
22. leĝ / 法 / 「法律」を象徴する最も基本的な字。日本語の“法”とも対応 / 同字“法”を後述の“jur”と共有
23. jur / 法 / 「法律」「法学」「法理」など広く“法”全般を示すため、上記“leĝ”と同じ字を再利用 / 学習負担の軽減
24. arbitraci / 裁 / 仲裁(“仲裁”)や裁定(“裁定”)など“さばく”ニュアンスを持つ字 / 画数はやや多いが「裁判」「制裁」に通じやすく、法的判断の文脈に馴染む
25. juĝ / 判 / 「审判(審判)」「判决(判決)」の主要字として有名。裁く・判定する意味 / “kondamn”と同字でまとめ、学習コストを圧縮

verdikt / 判

* + 選定理由: 「判」は「判定・判決」の意を持ち、中国語「判决」「裁判」、日本語「判決」などと通じる。
  + 学習コスト: 画数は比較的少なめ(7画)。既出の簡体字とも大きく重複はないため、導入しやすい。

1. tribunal / 法庭
   * 選定理由: 単一漢字「庭」だけでは「中庭」「家庭」などのイメージが強く、日本語話者にとっては「法廷(ほうてい)」のほうが意味をつかみやすい。簡体字で正式には「法庭」。
   * 学習コスト: 「法」は既に漢字学習では頻出要素、「庭」もやや画数は多いが法廷の意味を確実に伝えられる。
2. instanc / 审
   * 選定理由: 「審級(しんきゅう)」「审级」など、裁判所における“審理の段階・審級”を表す要素として「审」を採用。日本語の「審(しん)」に通じる。
   * 学習コスト: 新規導入の簡体字だが、裁判関連でよく出るため汎用性は高い。
3. rit / 礼
   * 選定理由: 「礼」は「礼儀」「礼拝」「礼法」など“儀礼・礼式”の意味を広く含む。宗教的儀式(ritual)にも通じる。
   * 学習コスト: 画数少なく、日本語の「礼(れい)」とも対応し、認識しやすい。
4. ceremoni / 礼
   * 選定理由: 「rit(儀式)」と非常に近い概念。「礼」のまま再利用することで、学習コストを削減。
   * 学習コスト: 上記(rit)と同一割当なので新規要素なし。
5. oficial / 官
   * 選定理由: 「官」は「官職」「官営」など、政府・公的機関の“オフィシャル”を示す最も直接的な字。
   * 学習コスト: 8画と中程度。日本語でも「官」は公的機関を表す字として認識される。
6. formal / 式
   * 選定理由: 中国語「形式」「公式」、日本語「正式」「公式」「儀式」など、「式」は“形式的・フォーマル”を含意する。
   * 学習コスト: 「礼」とは別の字だが、こちらも日本語圏・中国語圏ともに馴染みが深い。
7. regul / 规
   * 選定理由: 簡体字「规」は「规则(規則)」「规章(規章)」など“規則・ルール”の意味を明示。
   * 学習コスト: 8画。日本語の「規」のイメージと共通し、意味把握が容易。
8. disciplin / 律
   * 選定理由: 「律」は“法律・規律・音律”などを含む語。特に「纪律(紀律)」「规律(規律)」で“規律・秩序”を表す。
   * 学習コスト: 9画。中国語でも日本語でも「律」は法や秩序に関係する字として通じる。
9. norm / 准
   * 選定理由: 中国語「标准(標準)」の「准」から。基準・標準(ノルマ)のイメージを担える。
   * 学習コスト: 10画だが、「标准」で見慣れた字でもあり、日本語「準(じゅん)」とも対応。
10. kriteri / 准
    * 選定理由: 「norm」とほぼ同義の「基準」「規準」の意味合いで再利用。
    * 学習コスト: 重複割当で学習コスト削減。
11. tip / 型
    * 選定理由: 「型」は“中国語：型号(モデル・型番)”“日本語：典型・模型”など“type/typical”に近い。
    * 学習コスト: 9画。機械型番や類型を連想しやすい。
12. ordinar / 常
    * 選定理由: 「常」は「平常(ふだん)」「通常(つうじょう)」「经常(しばしば)」など、“普通・日常”的なニュアンス。
    * 学習コスト: 11画だが、日本語・中国語ともに“常に”の意味で定着。
13. normal / 正
    * 選定理由: 「正」は「正しい」「正確」「正常(正常な)」などに通じ、“ノーマル・正規”の感覚を表しやすい。
    * 学習コスト: 5画と少なく、既出要素とも親和性が高い。
14. ortodoks / 正统
    * 選定理由: 中国語「正统」、日本語「正統」。単一漢字「正」だけだと“普通・正しい”の意味と重複して曖昧なので、あえて熟語化。
    * 学習コスト: 「正」は既出、新たに「统(統)」を導入。ただし後述の「传统(伝統)」でも再利用予定。
15. tradici / 传统
    * 選定理由: 中国語「传统」、日本語「伝統」。伝承(传)と統合(统)が組み合わさって“伝統”をはっきり示す。
    * 学習コスト: 「正统」と同じく「统」を再利用。新たに「传(伝)」を導入。
16. mor / 俗
    * 選定理由: 「风俗(風俗)」「俗習」「俗世」など、“風俗・慣習・世俗”の意味を担う。
    * 学習コスト: 9画。日本語では「俗語」「世俗」で馴染みがある。
17. kutim / 惯
    * 選定理由: 「习惯(習慣)」の「惯」で、“慣れる・慣習・慣行”の意味を明示。
    * 学習コスト: 8画。「慣」の簡体字。日本語話者にも「慣(な)れる」で概ね想像できる。
18. rutin / 例
    * 選定理由: 「例」は“例示・事例・慣例(惯例)”など、“ルーティン・定例”に結びつきやすい。
    * 学習コスト: 8画。「惯例」と合わせて考えるとわかりやすいが、単字なら「例」を採用。
19. kiel / 如
    * 選定理由: “~のように、どう(方法)”という意味を中国語の「如果(もし)」「如同(〜のように)」の「如」に託す。
    * 学習コスト: 6画。日本語でも「如(ごと)し」の熟語(如実・如是)等で通じる。
20. kiel## / 如
    * 選定理由: 上記(kiel)と同義。末尾「##」付きだが意味は変わらないため重複割当。
    * 学習コスト: 新規要素なし。
21. iel / 某
    * 選定理由: 「某」は「ある(不特定)」「何らかの」の意。“どうにかして／なんとかして”を漠然と示すのに合う。
    * 学習コスト: 9画。日本語でも「某氏」「某所」のように不特定を指す言葉として認識。
22. tiel / 那
    * 選定理由: 中国語「那样(あのように)」「那边(あちら)」の「那」は“その、あの”を指し示す意味。
    * 学習コスト: 6画。日本語話者にはやや馴染み薄いが、中国語では頻出。
23. tiel ĉi## / 这
    * 選定理由: 「这」は「这样(このように)」「这里(ここ)」など、“この”を指す最も基本的な簡体字。
    * 学習コスト: 5画。简体字「这」は日本語の「這(這う)」と字形が違うが、指示詞として覚えやすい。
24. recept / 方
    * 選定理由: 「方」は中国語でも日本語でも「方法(やり方)」「処方(レシピ・処方箋)」を連想できる。
    * 学習コスト: 4画と非常に少なく、“作り方・レシピ”の意味に合致。